

平成26年度 みやざき小中学校学習状況調査 分析結果



目次

I	調査の概要	
	実施の概要	・・・・・・・・・・・・・・ 1
II	各教科の分析結果	
II-1	小学校 各教科の分析	・・・・・・・・・・・・・・ 2
	各教科の調査問題の趣旨・内容	・・・・・・・・・・・・・・ 2
	学習状況調査の結果概要	・・・・・・・・・・・・・・ 4
	1 小学校5年：国語	・・・・・・・・・・・・・・ 4
	2 小学校5年：社会	・・・・・・・・・・・・・・ 7
	3 小学校5年：算数	・・・・・・・・・・・・・・ 10
	4 小学校5年：理科	・・・・・・・・・・・・・・ 13
II-2	中学校 各教科の分析	・・・・・・・・・・・・・・ 16
	各教科の調査問題の趣旨・内容	・・・・・・・・・・・・・・ 16
	学習状況調査の結果概要	・・・・・・・・・・・・・・ 18
	1 中学校2年：国語	・・・・・・・・・・・・・・ 18
	2 中学校2年：社会	・・・・・・・・・・・・・・ 21
	3 中学校2年：数学	・・・・・・・・・・・・・・ 24
	4 中学校2年：理科	・・・・・・・・・・・・・・ 27
	5 中学校2年：英語	・・・・・・・・・・・・・・ 30
II-3	各教育事務所の状況	・・・・・・・・・・・・・・ 33
	1 中部教育事務所	・・・・・・・・・・・・・・ 33
	2 南部教育事務所	・・・・・・・・・・・・・・ 37
	3 北部教育事務所	・・・・・・・・・・・・・・ 42
II-4	平均正答率の分布	・・・・・・・・・・・・・・ 47
	1 小学校における平均正答率の分布	・・・・・・・・・・・・・・ 47
	2 中学校における平均正答率の分布	・・・・・・・・・・・・・・ 49

※ 付録 A層～D層についてもっと知りたい！

平成27年1月 宮崎県教育委員会

I 調査の概要

実施の概要

調査目的	県内の公立小・中学校及び中等教育学校（前期課程）、特別支援学校の小・中学部における児童生徒の学習の定着状況を把握・分析し、その結果をもとに、学校における学習指導の充実・改善等に役立てる。
実施日	平成26年9月3日(水)・4日(木)
調査対象校	市町村立小学校 235校 ※5年生児童が在籍していない4校（分校を含む）は除く 市町村立中学校 133校 五ヶ瀬中等教育学校（前期課程） 宮崎西高等学校附属中学校 都城泉ヶ丘高等学校附属中学校 特別支援学校3校（小学部2・中学部2） 宮崎大学教育文化学部附属小・中学校
対象学年	小学校第5学年（10,354人）
調査人数	中学校第2学年（10,427人）
調査実施内容	<p><学習状況調査></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 小学校第5学年：国語、社会、算数、理科 ○ 中学校第2学年：国語、社会、数学、理科、英語 <p>※ 学習指導要領に示されている各教科の目標に即し、それぞれの教科の観点に沿った内容で調査を実施する。</p>

Ⅱ 各教科の分析結果

Ⅱ-1 小学校 各教科の分析

各教科の調査問題の趣旨・内容

■ 国語

- | | |
|-----------------|---|
| 読む能力 | 書かれている内容を理解するための基礎的・基本的な知識や能力が身に付いているかどうかをみる問題。
(例) ■ 叙述を基に登場人物の心情をとらえたり、内容を正しく読み取ったりする。
■ 目的に応じて、文章の要点をとらえる。また、文章の構成を考えながら筆者の主張を的確に読み取る。 |
| 言語についての知識・理解・技能 | 言語事項に関する基礎的・基本的な知識や能力が身に付いているかどうかをみる問題。
(例) ■ 文脈に即して、漢字の正しい読み書きをする。
■ 漢字辞典の使い方を理解する。
■ 文脈に即して、慣用句や故事成語を正しく使う。 |
| 話す・聞く能力 | 話し合いに積極的に参加し、自分の意見を根拠を示しながら自分の意見を言ったり、司会の役割を理解して話し合いを進めたりすることができるかどうかをみる問題。
(例) ■ 理由を挙げながら自分の意見を言うことができる。
■ 話し合いの具体的な進め方について、理解している。 |
| 書く能力 | 書かれたものを推敲する力や、一定の条件に従って文章を書く力が身に付いているかどうかをみる問題。
(例) ■ 話し合い活動で決まった順番に沿って書かれているかという観点で推敲し、間違っている部分を正す。
■ 実際の新聞記事を、条件に従って作成する。 |

■ 社会

- | | |
|----------|---|
| 知識・理解 | 社会的事象についての基礎的・基本的な知識が身に付いているかどうかをみる問題。
(例) ■ 世界の中の日本の位置を理解している。
■ 主な地図記号や方位を理解している。 |
| 資料活用 | 社会的事象を観察、調査したり、複数の資料を効果的に活用したりして、必要な情報を読み取ることができるかどうかをみる問題。
(例) ■ 地図やグラフから数値や変化を正しく読み取る。
■ 課題に応じて、必要な資料を選択して読み取る。 |
| 思考・判断・表現 | 社会的事象の特色や相互の関連について考えることができるかどうかをみる問題。
(例) ■ 資料から考察し、文章で表現する。
■ 資料から見つけた根拠を基に自分の考えをもち、説明する。 |

■ 算数

技能	<p>計算をしたり、面積を求めたり、図形を構成したり、数量の関係などを表したり調べたりするなどの技能を身に付けているかどうかをみる問題。</p> <p>(例) ■ 小数の乗法、除法の計算をする。 ■ 合同な三角形の作図をする。</p>
知識・理解	<p>数量の意味や表し方、計算の意味、測定の意味、図形の意味及び数量の関係などについて理解しているかどうかをみる問題。</p> <p>(例) ■ 分数の大小関係を理解している。 ■ およその面積を理解している。</p>
数学的な考え方	<p>日常の事象について見通しをもち、筋道を立てて考え表現したり、そのことから考えを深めたりするなど、数学的な考え方の基礎を身に付けているかどうかをみる問題。</p> <p>(例) ■ 六角形の内角の和を三角形に分けて求める場面で、図と式を対応させて考える。 ■ 遠足の計画表から、条件に合う必要な情報を選択し、適切な時間を求める。</p>

■ 理科

知識・理解	<p>自然の事物・現象についての基礎的・基本的な知識が身に付いているかどうかをみる問題。</p> <p>(例) ■ 授業で扱う身近な植物の種子や成長のきまり、メダカの体のつくりや育ち方を理解している。 ■ 太陽によってできる影の位置は、太陽の動きとともに変化することを理解している。</p>
観察・実験の技能	<p>自然の事物・現象について、課題を追究するための観察・実験に必要な技能が身に付いているかどうかをみる問題。</p> <p>(例) ■ 温度計の測り方について理解している。 ■ 植物の成長について調べるとき、そろえる条件と変える条件について理解している。</p>
思考・表現	<p>自然の事物・現象の共通性や相互のかかわり、性質や変化、規則性についての見方や考え方が身に付いているかどうかをみる問題。</p> <p>(例) ■ 水が凍ると体積が大きくなることを活用して、凍らせたペットボトルを選ぶとともに、判断した理由を説明することができる。 ■ 発光ダイオードの性質を活用して、乾電池のつなぎ方を判断するとともに、判断した理由を説明することができる。</p>

学習状況調査の結果概要

1 小学校5年:国 語

□ 平均正答率(%)

分類・観点・領域		全体	階層別			
			A層	B層	C層	D層
分類	A B全体	45.5	80.6	60.3	39.0	16.2
	A 知識	52.3	86.8	68.5	46.2	19.4
	B 活用	18.2	55.8	27.8	10.0	3.5
観点	読む能力	40.8	81.5	59.2	35.8	17.6
	言語についての知識・理解・技能	61.3	91.6	79.4	59.8	25.7
	話す・聞く能力	20.3	51.5	33.1	16.0	7.4
	書く能力	13.0	59.6	23.3	5.7	2.0
領域	読むこと	40.8	81.5	59.2	35.8	17.6
	伝統的な言語文化と国語の特質	61.3	91.6	79.4	59.8	25.7
	話すこと・聞くこと	20.3	51.5	33.1	16.0	7.4
	書くこと	13.0	59.6	23.3	5.7	2.0

※ 平均正答率:「正答率」の合計÷生徒数(%)

正答率:できた問題数÷全問題数×100(%)

※ 「A層・B層・C層・D層」は、「正答率」を基に上位から4層に分けて表示しています。詳しくは、別添の「A層～D層についてもっと知りたい!」をご覧ください。

※ 観点・領域における「全体」の数値は、抽出した約1000名分のデータをもとに算出したものです。

□ 設問別正答率(%)

結果概要

学習定着状況

◇「分類A」＝「知識」に関する問題、「分類B」＝「活用」に関する問題

問題番号			出題内容	領域	観点	分類	全体	階層別				A層-D層	児童生徒の無解答の割合(%)
通し番号	大問	小問						A層	B層	C層	D層		
1	1	1	指示する内容の理解	読むこと	読む能力	A	36.3	88.1	60.7	31.3	11.7	76.4	13.5
2	1	2	副詞の補充	読むこと	読む能力	A	75.8	95.7	89.4	73.3	43.0	52.7	0.8
3	1	3	内容の理解	読むこと	読む能力	A	20.2	76.9	38.6	13.1	6.2	70.7	11.2
4	1	4	内容の理解	読むこと	読む能力	A	74.7	97.1	88.9	69.9	38.5	58.6	2.4
5	1	5	内容の理解	読むこと	読む能力	A	22.1	67.1	41.2	19.2	8.9	58.2	21.2
6	2	1	接続語の選択	読むこと	読む能力	A	64.8	95.3	85.3	58.8	25.8	69.5	1.7
7	2	2	文章構成の理解	読むこと	読む能力	A	32.5	59.6	41.9	31.6	19.9	39.7	5.1
8	2	3	内容の理解	読むこと	読む能力	A	20.9	71.5	40.1	18.4	7.0	64.5	18.8
9	2	4	内容の理解	読むこと	読む能力	A	45.9	95.7	74.6	30.8	7.9	87.8	27.2
10	2	5	内容の理解	読むこと	読む能力	A	14.4	67.9	31.8	11.3	4.6	63.3	38.1
11	3	1	筆順の理解	伝統的な言語文化と国語の特質	言語についての知識・理解・技能	A	42.5	78.0	58.3	37.5	18.9	59.1	4.7
12	3	2-(1)	漢字の書き	伝統的な言語文化と国語の特質	言語についての知識・理解・技能	A	52.1	88.4	75.4	48.1	12.9	75.5	22.5
13	3	2-(2)	漢字の書き	伝統的な言語文化と国語の特質	言語についての知識・理解・技能	A	68.8	98.6	91.5	72.8	25.9	72.7	8.7
14	3	2-(3)	漢字の読み	伝統的な言語文化と国語の特質	言語についての知識・理解・技能	A	78.5	97.8	93.5	79.8	33.5	64.3	7.9
15	3	2-(4)	漢字の読み	伝統的な言語文化と国語の特質	言語についての知識・理解・技能	A	88.2	99.3	95.8	89.3	54.0	45.3	5.6
16	3	3	慣用句の使い方	伝統的な言語文化と国語の特質	言語についての知識・理解・技能	A	56.2	90.6	74.1	52.7	21.1	69.5	7.0
17	3	4	漢字辞典の用法	伝統的な言語文化と国語の特質	言語についての知識・理解・技能	A	60.8	84.8	76.1	59.2	26.5	58.3	9.1
18	3	5-(1)	主語の理解	伝統的な言語文化と国語の特質	言語についての知識・理解・技能	A	49.9	89.9	72.7	46.3	17.0	72.9	10.2
19	3	5-(1)	述語の理解	伝統的な言語文化と国語の特質	言語についての知識・理解・技能	A	73.7	99.6	92.0	76.7	35.9	63.7	10.3
20	3	5-(2)	ローマ字の知識	伝統的な言語文化と国語の特質	言語についての知識・理解・技能	A	41.8	88.4	64.2	35.1	8.6	79.8	18.4
21	1	1	発表の仕方	話すこと・聞くこと	話す・聞く能力	B	35.0	78.7	53.9	24.2	8.8	69.9	18.7
22	1	2	司会の役割の理解	話すこと・聞くこと	話す・聞く能力	B	3.9	23.1	14.0	7.2	4.8	18.3	28.6
23	1	3	司会の役割の理解	話すこと・聞くこと	話す・聞く能力	B	22.0	52.7	31.5	16.7	7.9	44.8	9.4
24	1	4	新聞の構成の理解	書くこと	書く能力	B	14.7	58.8	23.6	5.9	2.1	56.7	45.3
25	1	5	文章の記述	書くこと	書く能力	B	11.3	60.3	23.0	5.4	1.5	58.8	50.9

※ 全体の数値は、抽出した約1000名分のデータをもとに算出したものです。

小学校国語の状況

① 考察

- ・ 県全体の平均正答率は45.5ポイントである。
- ・ 言語についての「知識・理解・技能」は身に付いているが、文章構成の問題や制限された字数で自分の言葉を使ってまとめる問題などの正答率が低い傾向にある。

② 間違いの多かった問題例
(問題)

※
問題文は、省略していません。

ア
ウ

さて、和紙は日本人のくらしにとつて、どのような役割を果たしてきたのでしょうか。

問二

次の文章の中に入る適切な漢字を、下の欄から選んで、記号で答えましょう。

ア ウ

町田誠之作「和紙の心」の一部を読んで答える問題

正答 ア
(課題)

- ・ 目的に応じて段落のつながりを適切にとらえることに課題がみられる。
- (改善のポイント)

- ・ 段落相互の関係を押さえることは、文章を書く際にも必要なことであり、読むことの指導においては、中心となる言葉や文は何かをとらえ、それぞれの段落がどのようなつながりで構成されているかに注意しながら読む力を高めることが重要である。

(問題)

問一

次の漢字の黒くぬった部分は、何画目に書きますか。数字で書きましょう。

正答 一(1)
(課題)

- ・ 出題内容「筆順の理解」において、正しい筆順で漢字を書くことに課題がみられる。
- (改善のポイント)

- ・ 文字を正しく、美しく書くという習慣を身につける内容である。また、中学校での毛筆書写の学習にもつながる重要な学習内容である。

2 小学校5年:社 会

□ 平均正答率(%)

分類・観点・領域		全体	階層別			
			A層	B層	C層	D層
分類	A B全体	65.2	85.2	62.8	40.0	16.0
	A 知識	70.0	89.1	68.7	45.3	18.1
	B 活用	45.9	69.6	39.2	19.0	7.6
観点	知識・理解	78.3	92.5	76.9	53.8	23.7
	資料活用	63.0	82.6	60.3	38.6	16.8
	思考・判断・表現	54.5	74.3	48.1	27.5	12.0
領域	世界の中の国土	76.8	91.7	75.3	53.9	28.0
	生産や販売の仕事	68.9	84.1	65.8	44.7	20.3
	人々の生活	70.0	87.1	66.8	43.4	17.6
	県の様子	64.8	85.3	62.9	39.8	15.1
	国土の気候と人々の暮らし	52.9	70.1	44.3	24.0	10.8
	生活と食料生産	34.7	59.2	24.9	7.5	1.2

※ 平均正答率:「正答率」の合計÷生徒数(%)

正答率:できた問題数÷全問題数×100(%)

※ 「A層・B層・C層・D層」は、「正答率」を基に上位から4層に分けて表示しています。詳しくは、別添の「A層～D層についてもっと知りたい!」をご覧ください。

※ 観点・領域における「全体」の数値は、抽出した約1000名分のデータをもとに算出したものです。

□ 設問別正答率(%)

結果概要

学習定着状況

◇ 「分類A」 = 「知識」に関する問題、「分類B」 = 「活用」に関する問題

問題番号			出題内容	領域	観点	分類	全体	階層別				A層-D層	児童生徒 の無解答 の割合(%)
通し 番号	大問	小問						A層	B層	C層	D層		
1	1	1	我が国の国土の構成	世界の中の国土	知識・理解	A	80.9	94.2	80.2	55.2	23.8	70.4	4.4
2	1	2	世界の主な海洋	世界の中の国土	知識・理解	A	88.0	96.5	90.1	73.0	42.3	54.2	3.3
3	1	3	我が国の位置	世界の中の国土	知識・理解	A	62.4	84.2	55.3	32.5	14.9	69.3	2.2
4	1	4	我が国の領土	世界の中の国土	資料活用	A	62.7	89.5	62.6	33.1	16.1	73.4	1.4
5	1	5	主な国の名称と位置	世界の中の国土	知識・理解	A	90.1	94.0	88.5	75.6	42.3	51.7	2.6
6	2	1	生産の仕事の内容	生産や販売の仕事	資料活用	A	66.2	86.5	62.3	33.3	14.9	71.6	1.0
7	2	2(1)	生産の仕事の工夫	生産や販売の仕事	資料活用	A	78.0	89.2	76.0	54.5	20.2	69.0	1.7
8	2	2(2)	生産の仕事の留意点	生産や販売の仕事	資料活用	A	81.2	89.6	79.4	59.7	26.2	63.4	3.1
9	2	3	適切な質問の内容	生産や販売の仕事	思考・判断・表現	A	50.3	71.1	45.4	31.5	18.5	52.6	3.5
10	3	1(1)	適切なグラフの選択	人々の生活	資料活用	A	66.7	82.4	60.1	33.8	11.9	70.5	4.1
11	3	1(2)	節水の取組	人々の生活	思考・判断・表現	A	65.2	87.8	56.3	30.4	12.5	75.3	1.8
12	3	2(1)	浄水場の取組	人々の生活	資料活用	A	59.9	81.0	60.1	39.3	10.1	70.9	3.5
13	3	2(2)	浄水場の取組	人々の生活	思考・判断・表現	A	88.1	97.0	90.7	70.2	33.9	63.1	2.7
14	4	1	宮崎県の産業と地形等の様子	県の様子	資料活用	A	38.9	65.6	32.8	23.4	9.5	56.1	3.7
15	4	2	スギ生産に関する資料の読み取り	県の様子	資料活用	A	50.5	77.1	48.8	32.0	20.2	56.9	4.3
16	4	3	都道府県の名称と位置(隣接する県)	県の様子	知識・理解	A	72.9	92.4	72.0	36.2	8.9	83.5	5.4
17	4	4	都道府県の名称と位置(東北地方)	県の様子	知識・理解	A	80.9	93.6	81.3	59.2	16.1	77.5	6.9
18	4	5(1)	八方位	県の様子	知識・理解	A	65.0	87.7	58.0	34.3	11.9	75.8	7.0
19	4	5(2)	地図記号	県の様子	知識・理解	A	86.2	97.1	90.1	64.8	26.2	70.9	6.9
20	4	6	スギ生産と地形等との関連	県の様子	思考・判断・表現	A	58.9	83.7	57.3	28.4	7.7	76.0	9.3
21	1	1	雨温図の読み取り	国土の気候と人々の暮らし	思考・判断・表現	B	32.4	57.6	23.2	7.9	3.6	54.0	9.3
22	1	2	雪国の人々の暮らしの工夫	国土の気候と人々の暮らし	思考・判断・表現	B	84.6	89.6	80.4	52.8	25.6	64.0	8.7
23	1	3	雪国の人々の暮らしの工夫	国土の気候と人々の暮らし	思考・判断・表現	B	41.6	63.1	29.5	11.1	3.6	59.5	11.2
24	2	1	米づくりのこれから	生活と食料生産	思考・判断・表現	B	44.1	71.4	33.4	10.2	1.8	69.6	18.4
25	2	2	米づくりのこれから	生活と食料生産	思考・判断・表現	B	25.3	46.9	16.4	4.9	0.6	46.3	24.4

※ 全体の数値は、抽出した約1000名分のデータをもとに算出したものです。

小学校社会の状況

① 考察

- ・ 県全体の平均正答率は65.2ポイントである。
- ・ 「主な国の名称と位置」や「世界の主な海洋」については正答率が高いが、「宮崎県の産業と地形等の様子」や「適切な質問の内容」などについては低い傾向にある。

② 間違いの多かった問題例
(問題)

4 1 「発見メモ」の ① に、資料1～4からわかることを書こうと思います。次のア～エの中で、まちがっているものを1つ選び、記号で答えましょう。

資料1 日本のスギ
素材生産量

資料2 宮崎県の土地
の様子

資料3 宮崎県の土地
の使われ方

資料4 宮崎県に植え
られている木の種類

※スギ素材
の総生産量
を表す図

※宮崎県の
土地の様子
を表す図

※宮崎県の土
地の使われ
方を表す図

※宮崎県に植
えられてい
る木の種類

発見メモ

◆

- ア 宮崎県の山地は、海ぞいよりも、となり合っている県との境に多くみられる。
イ 宮崎県の民有林の中で、最も多い木の種類はスギである。
ウ 宮崎県の森林面積は、県全体の面積の76.2%である。
エ 宮崎県のスギ素材生産量は、9,950,000m³である。

正 答 エ
(課題)

- ・ 出題内容「宮崎県の産業と地形等の様子」において、資料から宮崎県の産業と地形等の様子について読み取ることに課題がみられる。

(改善のポイント)

- ・ 県の地図や立体地図などを活用して、主な地形や産業などを調べ、白地図にかき表す活動を通して、県全体の特色をとらえるように指導する必要がある。

(問題)

2 ゆかりさんたちは、社会科の学習で、ほうれんそうをつくっている農家の清水さんのところへ見学に行きました。ゆかりさんが、ほうれんそうづくりの仕事について清水さんにしつ問したところ、清水さんは次の資料を使って、説明をしてくださいました。

3 ゆかりさんは、清水さんの説明のあと、^{《中略》}資料からではわからないことをしつ問しようと思いました。しつ問の内ようとしてふさわしいものを、次のア～エから1つ選び、記号で答えましょう。

- ア 土づくりでは、なぜ、たいひを土にまぜるのですか。
イ 7～10日あけ、何回かに分けて種をまくのはなぜですか。
ウ 種まきからしゅうかくまで、何日くらいかかりますか。
エ なぜ、とり入れたほうれんそうを、すぐに出荷するのですか。

正 答 エ
(課題)

- ・ 出題内容「適切な質問内容」において、資料を読み取り、適切な質問内容を考えることに課題がみられる。

(改善のポイント)

- ・ 見学や調査、作業的な活動などを取り入れる中で、仕事に携わっている人から話を聞くなどの活動を取り入れながら、具体的に調べ考える学習を計画し指導する必要がある。

3 小学校5年:算 数

□ 平均正答率(%)

分類・観点・領域		全体	階層別			
			A層	B層	C層	D層
分類	A B全体	62.2	82.6	62.6	40.9	17.2
	A 知識	71.2	89.3	73.2	50.0	21.4
	B 活用	26.1	55.7	20.1	4.1	0.4
観点	技能	69.7	89.2	70.9	46.3	21.2
	知識・理解	66.5	82.6	66.7	49.1	24.9
	数学的な考え方	39.0	62.0	37.0	22.0	10.3
領域	数と計算	59.2	79.9	59.4	36.4	18.1
	量と測定	59.7	79.8	61.2	44.4	18.4
	図形	57.5	77.8	56.7	37.3	16.8
	数量関係	77.1	91.9	78.0	58.1	27.4

※ 平均正答率:「正答率」の合計÷生徒数(%)

正答率:できた問題数÷全問題数×100(%)

※ 「A層・B層・C層・D層」は、「正答率」を基に上位から4層に分けて表示しています。詳しくは、別添の「A層～D層についてもっと知りたい!」をご覧ください。

※ 観点・領域における「全体」の数値は、抽出した約1000名分のデータをもとに算出したものです。

□ 設問別正答率(%)

結果概要

学習定着状況

◇ 「分類A」＝「知識」に関する問題、「分類B」＝「活用」に関する問題

問題番号			出題内容	領域	観点	分類	全体	階層別				A層-D層	児童生徒 の無解答 の割合(%)
通し 番号	大問	小問						A層	B層	C層	D層		
1	1	(1)	小数の減法の計算	数と計算	技能	A	80.2	95.2	82.7	50.4	18.7	76.5	2.4
2	1	(2)	小数×小数	数と計算	技能	A	62.4	90.1	65.6	39.6	31.0	59.1	0.5
3	1	(3)	整数÷小数	数と計算	技能	A	65.2	92.4	68.5	26.8	9.0	83.4	2.0
4	1	(4)	分数の和の計算	数と計算	技能	A	84.6	95.2	86.5	69.8	40.6	54.6	1.2
5	2	(1)	計算の順序	数と計算	知識・理解	A	54.7	76.4	53.6	38.9	31.6	44.8	1.9
6	2	(2)	そろばんの数の表し方	数と計算	知識・理解	A	72.7	88.8	74.9	45.0	10.3	78.5	3.5
7	2	(3)	四捨五入による概数の表し方	数と計算	数学的な考え方	A	64.3	87.9	66.2	36.7	9.0	78.9	4.0
8	2	(4)	分数の大小関係	数と計算	知識・理解	A	77.8	89.1	78.7	54.5	23.2	65.9	2.1
9	2	(5)	大きな数の大小関係	数と計算	技能	A	34.3	63.3	30.8	19.9	11.6	51.7	3.2
10	2	(6)	概数の計算	数と計算	技能	A	79.1	91.2	80.0	51.1	23.2	68.0	3.3
11	3	(1)	分度器を使っての角の大きさの測定	量と測定	技能	A	57.2	81.9	59.3	31.5	11.6	70.3	1.7
12	3	(2)	およその面積	量と測定	知識・理解	A	34.3	61.6	33.7	23.8	11.0	50.6	2.6
13	4	(1)	直方体の体積	量と測定	技能	A	87.5	95.8	90.6	77.8	30.3	65.5	2.1
14	4	(2)	直方体の辺と辺の平行	図形	技能	A	73.4	91.8	76.6	51.4	19.4	72.4	2.2
15	5	(1)	合同な図形の対応する角	図形	技能	A	87.8	95.6	89.6	70.8	34.8	60.8	3.5
16	5	(2)	合同な図形の作図	図形	技能	A	90.8	95.6	91.0	78.4	39.4	56.2	2.4
17	6	(1)	折れ線グラフの読み取り	数量関係	知識・理解	A	93.1	97.1	92.4	83.1	45.8	51.3	2.7
18	6	(2)	折れ線グラフの読み取り	数量関係	技能	A	82.1	94.6	85.6	51.0	12.9	81.7	3.5
19	7	(1)	変わり方のきまり	数量関係	数学的な考え方	A	92.3	97.4	94.7	83.6	46.5	50.9	3.7
20	7	(2)	変わり方のきまり	数量関係	技能	A	40.9	78.7	39.4	14.7	1.9	76.8	9.2
21	1	(1)	三角形・四角形の角	図形	技能	B	50.4	87.0	46.6	15.0	0.6	86.4	12.5
22	1	(2)	三角形・四角形の角	図形	数学的な考え方	B	37.3	76.5	30.1	5.7	1.9	74.6	16.7
23	1	(3)	三角形・四角形の角	図形	数学的な考え方	B	5.4	20.5	6.2	2.3	0.0	20.5	6.4
24	2	(1)	実生活の場面における活用	数と計算	数学的な考え方	B	14.5	37.7	9.8	1.6	0.6	37.1	20.6
25	2	(2)	実生活の場面における活用	数と計算	数学的な考え方	B	20.4	51.9	15.0	2.3	0.0	51.9	30.4

※ 全体の数値は、抽出した約1000名分のデータをもとに算出したものです。

小学校算数の状況

① 考察

- 平均正答率は62.2ポイントである。「折れ線グラフの読み取り」、「合同な図形の作図」などについては正答率が高いが、「およその面積」、「大きな数の大小関係」などについては低い傾向にある。

② 間違いの多かった問題例
(問題)

3(2) 面積が3000 cm² に最も近いと考えられるものはどれですか。
次のア～エから1つ選び、記号で答えましょう。

- ア はがきの面積
- イ 教室の子ども用のつくえの面積
- ウ 教室のゆかの面積
- エ 学校の運動場の面積

正 答 | イ

(課題)

- 出題内容「およその面積」について、身の回りにあるものの中から、示された面積に最も近いものを選び出すことに課題がみられる。

(改善のポイント)

- 様々な具体物について、大きさを調べたり、確かめたりする作業的・体験的活動を取り入れ、量の大きさについての感覚を豊かにする指導が必要である。

(問題)

2(5) 次の式の積と商の大小を、 に不等号を入れて表しましょう。

$$2万 \times 3万 \quad \text{input} \quad 8億 \div 10$$

正 答 | >

(課題)

- 出題内容「大きな数の大小関係」について、大きな数の積や商を求め、数の大小を表すことに課題がみられる。

(改善のポイント)

- 万や億などの単位の理解を深め、十進位取り記数法で表現することのよさに児童自らが気付くような指導の工夫が必要である。

4 小学校5年:理 科

□ 平均正答率(%)

分類・観点・領域		全体	階層別			
			A層	B層	C層	D層
分類	A B全体	65.0	82.0	63.5	41.1	18.3
	A 知識	73.3	89.6	72.8	48.3	22.0
	B 活用	31.6	51.5	26.3	12.0	3.5
観点	知識・理解	73.8	88.1	71.7	46.2	20.1
	観察・実験の技能	82.8	95.4	82.9	59.6	32.9
	見方や考え方	39.6	57.4	35.2	20.9	12.1
領域	生命・地球（生命）	74.4	87.6	72.0	48.7	23.7
	生命・地球（地球）	68.5	86.2	67.9	42.8	18.7
	物質・エネルギー（エネルギー）	49.1	67.2	45.5	25.0	10.7
	物質・エネルギー（粒子）	57.7	72.3	54.5	35.5	16.8

※ 平均正答率:「正答率」の合計÷生徒数(%)

正答率:できた問題数÷全問題数×100(%)

※ 「A層・B層・C層・D層」は、「正答率」を基に上位から4層に分けて表示しています。詳しくは、別添の「A層～D層についてもっと知りたい!」をご覧ください。

※ 観点・領域における「全体」の数値は、抽出した約1000名分のデータをもとに算出したものです。

□ 設問別正答率(%)

結果概要

学習定着状況

◇ 「分類A」 = 「知識」に関する問題、「分類B」 = 「活用」に関する問題

問題番号			出題内容	領域	観点	分類	全体	階層別				A層-D層	児童生徒の無解答の割合(%)
通し番号	大問	小問						A層	B層	C層	D層		
1	1	1	動物の成長と季節	生命・地球(生命)	知識・理解	A	88.3	93.9	85.4	60.0	31.0	62.9	1.4
2	1	2	植物の成長と季節	生命・地球(生命)	知識・理解	A	50.4	75.8	47.3	29.7	14.1	61.7	0.5
3	1	3	生き物のくらしと季節	生命・地球(生命)	知識・理解	A	81.3	92.8	78.3	47.9	22.5	70.3	1.3
4	2	1	日光と植物の成長	生命・地球(生命)	観察・実験の技能	A	76.0	94.4	76.3	45.9	21.1	73.3	0.2
5	2	2	植物が成長する条件	生命・地球(生命)	知識・理解	A	93.0	94.0	89.2	73.0	39.4	54.6	1.7
6	2	3	植物が成長する条件	生命・地球(生命)	見方や考え方	A	28.1	59.4	26.0	11.5	1.4	58.0	0.3
7	3	1	人の体のつくりと運動	生命・地球(生命)	知識・理解	A	84.6	91.4	82.0	57.2	15.5	75.9	1.4
8	3	2	人の筋肉のつくりと運動	生命・地球(生命)	知識・理解	A	48.5	78.8	46.7	15.7	2.8	76.0	2.7
9	4	1	メダカの体の形状	生命・地球(生命)	知識・理解	A	90.5	92.8	86.9	75.7	49.3	43.5	2.6
10	4	2	メダカの卵の育ち	生命・地球(生命)	見方や考え方	A	93.6	92.8	88.8	77.7	60.6	32.2	3.0
11	4	3ア	メダカの卵の受精	生命・地球(生命)	知識・理解	A	82.5	92.3	80.8	48.0	12.7	79.6	4.0
12	4	3イ	メダカの卵の受精	生命・地球(生命)	知識・理解	A	76.0	93.2	76.8	41.6	7.0	86.2	5.1
13	5	1	日陰の位置の変化	生命・地球(地球)	知識・理解	A	70.4	89.8	71.5	33.0	7.0	82.8	1.9
14	5	2	日陰の位置の変化	生命・地球(地球)	知識・理解	A	45.6	72.5	42.8	22.1	4.2	68.3	2.3
15	5	3	温度計の使い方	生命・地球(地球)	観察・実験の技能	A	89.6	96.4	89.5	73.3	43.7	52.7	1.6
16	6	1	磁石に引き付けられる物	物質・エネルギー(エネルギー)	知識・理解	A	85.3	92.2	82.4	67.9	31.0	61.2	1.9
17	6	2	磁石の極の性質	物質・エネルギー(エネルギー)	知識・理解	A	61.5	81.6	58.7	32.6	16.9	64.7	2.2
18	6	3	磁石の性質	物質・エネルギー(エネルギー)	知識・理解	A	70.3	91.4	69.8	26.1	8.5	82.9	3.7
19	7	1	空気の温まり方	物質・エネルギー(粒子)	知識・理解	A	74.4	89.7	74.6	54.8	19.7	70.0	2.5
20	7	2	空気の温まり方	物質・エネルギー(粒子)	知識・理解	A	78.5	87.7	74.0	53.8	31.0	56.7	3.7
21	1	1	氷になるときの体積変化	物質・エネルギー(粒子)	見方や考え方	B	62.5	81.4	57.8	30.5	14.1	67.3	2.7
22	1	2	氷になるときの体積変化	物質・エネルギー(粒子)	見方や考え方	B	15.5	30.6	11.4	3.1	2.8	27.8	5.6
23	2	1(1)	乾電池のつなぎ方と電流の強さ	物質・エネルギー(エネルギー)	見方や考え方	B	17.7	39.6	9.7	1.8	2.8	36.8	7.5
24	2	1(2)	電流の流れる向き	物質・エネルギー(エネルギー)	見方や考え方	B	17.1	31.6	13.2	4.1	0.0	31.6	14.1
25	2	2	光電池の働き	物質・エネルギー(エネルギー)	見方や考え方	B	42.9	66.8	39.1	17.5	4.2	62.6	10.8

※ 全体の数値は、抽出した約1000名分のデータをもとに算出したものです。

小学校理科の状況

① 考察

- 平均正答率は65.0ポイントである。「動物の成長と季節」、「メダカの形状や卵の育ち」などについては正答率が高いが、「植物が成長する条件」や「日陰の位置の変化」などについては低い傾向にある。

② 間違いの多かった問題例
(問題)

2 3 だいすけさんは、この実験の結果からわかったことを、次のようにまとめました。文中の()に入る言葉を、下のア～エからすべて選び、記号で答えましょう。

この実験の結果から、植物がよく成長するには、水のほかに()が必要であることがわかった。

ア 日光 イ 土 ウ 肥料 エ 空気

正 答 ア、ウ

(課題)

- 出題内容「植物が成長する条件」において、実験結果からわかったことをまとめることに課題がみられる。

(改善のポイント)

- 実験結果を適切に解釈する力を身に付けさせるために、実験結果から自分の考えを整理し、自分のことばで表現する場面を意図的に設定することが大切である。

(問題)

5 2 さとみさんは、この観察の結果を、次のように記録しました。(①), (②)に入る言葉の組み合わせとして正しいものを、下のア～ウから1つ選び、記号で答えましょう。

太陽がAの位置のとき、ぼうの影は(①)のほうにのびていた。
太陽がCの位置のとき、ぼうの影は(②)のほうにのびていた。

ア ① 西 ② 北
イ ① 東 ② 南
ウ ① 北 ② 東

正 答 ア

(課題)

- 出題内容「日陰の位置の変化」において、太陽の位置と棒の影の関係を考えることに課題がみられる。

(改善のポイント)

- 太陽の位置とその時にできる影の位置の観察を行うとともに、結果をモデルや視聴覚教材を使って説明する等、太陽と影の位置に関する具体的なイメージをもつことができるよう工夫する必要がある。

Ⅱ-2 中学校 各教科の分析

各教科の調査問題の趣旨・内容

■ 国語

- 読む能力** 「読むこと」の領域において、基礎的・基本的な知識や技能が身に付いているかどうか、またそれらを活用できるかどうかをみる問題。
 (例) ■文章の内容を的確に読み取り、書いてまとめる。
- 言語についての知識・理解・技能** 言語についての、基礎的・基本的な知識や技能が身に付いているかどうかをみる問題。
 (例) ■漢字の正しい読み書きをする。
 ■漢和辞典の用法を正しく理解し、言葉を調べる。
- 書く能力** 「書くこと」の領域において、基礎的・基本的な知識や技能が身に付いているかどうか、またそれらを活用できるかどうかをみる問題。
 (例) ■資料の情報を読み取り、根拠を明らかにして書く。

■ 社会

- 知識・理解** 地理的・歴史的事象に関する基礎的・基本的な知識が身に付いているかどうかをみる問題。
 (例) ■応仁の乱後から戦国時代になったことを理解している。
- 思考・判断・表現** 様々な資料を活用して、事象を多面的・多角的に考察し、公正に判断するとともに、適切に表現することができるかどうかをみる問題。
 (例) ■関所に関する資料から、江戸時代の支配体制について考察することができる。
- 資料活用** 地理的・歴史的事象に関する諸資料から、有用な情報を適切に選択して、効果的に活用することができるかどうかをみる問題。
 (例) ■中国のGDPと人口の分布の関係を、資料から読み取ることができる。

■ 数学

- 技 能** 事象を文字式や方程式、グラフ、図形などで数学的に表現し処理することができるかどうかをみる問題。
 (例) ■正・負の数の四則計算をする。方程式を解く。
 ■比例のグラフをかく。立体の体積を求める。
- 知識・理解** 数量や図形などに関する基礎的な概念や原理・法則などについて理解し、知識を身に付けているかどうかをみる問題。
 (例) ■数の大小関係や連立方程式の解の意味を理解する。
 ■空間図形での2直線の位置関係や中央値の意味を理解する。
- 見方や考え方** 事象を数学的にとらえ、論理的に考察し表現するなど、数学的な見方や考え方を身に付けているかどうかをみる問題。
 (例) ■見いだした数学的な事実や事柄が成り立つ理由を説明する。
 ■見いだした図形の特徴を基に、条件に合った図をかく。

■ 理科

知識・理解	<p>自然の事物・現象について、基本的な概念や原理・法則を理解し、知識が身に付いているかどうかをみる問題。</p> <p>(例) ■火成岩のつくりの特徴を理解している。 ■弾く弦の長さと音の高低の関係を理解している。</p>
思考・表現	<p>自然の事物・現象による事象や結果を分析して解釈し、表現することができるかどうかをみる問題。</p> <p>(例) ■調べたり観察したりしてわかったことから、砂岩と泥岩の性質の違いを判断し、これを基に特徴的な地形ができた理由を説明することができる。 ■実験結果から光の反射の規則性を見だし、曲面に当てた光の進み方に適応させて、平面鏡と凸面鏡の見える範囲の違いを説明することができる。</p>
観察・実験の技能	<p>観察・実験の技能が身に付いているかどうか、観察・実験の過程や結果を的確に記録し、整理できるかどうかをみる問題。</p> <p>(例) ■ルーペの正しい使い方を指摘することができる。 ■電気分解によって発生した気体の体積や実験結果から、発生した気体を特定することができる。</p>

■ 英語

理 解	<p>「聞くこと」「読むこと」の領域において、英語で話された内容や英語で書かれた文章の内容を正しく理解できるかどうかをみる問題。</p> <p>(例) ■英語の問いかけに対して適切に応答する。 ■英語を聞いて、概要や要点を正確に把握する。 ■英文を読んで、概要や要点を正確に理解している。</p>
表 現	<p>英語が使われる実際の場面において、言語の働きを意識して、適切な内容で表現することができるかどうかをみる問題。</p> <p>(例) ■与えられた場面に即して自分が伝えたい内容を考え、適切に表現する。 ■英文を読んで内容の詳細を理解し、自分の思いや考えを適切に表現する。</p>
知識・理解	<p>英語の基本的な語彙や文構造などの文法的な知識が定着しているかどうかをみる問題。</p> <p>(例) ■英語の説明文を読み、そのことを表す英単語を正しい綴りで書く。</p>

学習状況調査の結果概要

1 中学校2年:国語

□ 平均正答率(%)

分類・観点・領域		全体	階層別			
			A層	B層	C層	D層
分類	A B全体	62.9	82.9	63.1	40.1	17.4
	A 知識	65.7	83.8	66.2	44.9	20.9
	B 活用	51.9	79.3	50.5	20.9	3.7
観点	読む能力	60.7	82.7	62.7	38.0	18.8
	言語についての知識・理解・技能	68.9	85.0	68.6	49.8	24.3
	書く能力	45.6	72.4	42.7	18.9	5.0
領域	読むこと	60.7	82.7	62.7	38.0	18.8
	伝統的な言語文化と国語の特質	68.9	85.0	68.6	49.8	24.3
	書くこと	45.6	72.4	42.7	18.9	5.0

※ 平均正答率:「正答率」の合計÷生徒数(%)

正答率:できた問題数÷全問題数×100(%)

※ 「A層・B層・C層・D層」は、「正答率」を基に上位から4層に分けて表示しています。詳しくは、別添の「A層～D層についてもっと知りたい!」をご覧ください。

※ 観点・領域における「全体」の数値は、抽出した約1000名分のデータをもとに算出したものです。

□ 設問別正答率(%)

結果概要

学習定着状況

◇ 「分類A」 = 「知識」に関する問題、「分類B」 = 「活用」に関する問題

問題番号			出題内容	領域	観点	分類	全体	階層別				A層-D層	児童生徒の無解答の割合(%)
通し番号	大問	小問						A層	B層	C層	D層		
1	1	1	文脈の把握・語句の理解	読むこと	読む能力	A	67.9	82.1	66.4	58.0	32.5	49.6	0.2
2	1	2	内容の把握	読むこと	読む能力	A	41.6	70.1	41.6	16.1	9.3	60.8	2.4
3	1	3	内容の把握	読むこと	読む能力	A	61.2	90.3	67.3	34.6	15.2	75.1	6.2
4	1	4	内容の把握	読むこと	読む能力	A	35.7	61.9	34.0	13.4	4.0	57.9	4.4
5	1	5	内容の把握	読むこと	読む能力	A	56.2	77.5	57.9	29.8	20.5	57.0	1.0
6	2	1	文脈の把握・語句の理解	読むこと	読む能力	A	95.5	98.2	95.2	85.3	63.6	34.6	0.4
7	2	2	内容の把握	読むこと	読む能力	A	86.2	97.8	90.9	68.3	23.8	74.0	3.4
8	2	3	文章の構成・組み立ての把握	読むこと	読む能力	A	39.8	66.1	40.7	23.4	9.9	56.2	1.5
9	2	4	内容の把握	読むこと	読む能力	A	52.7	80.9	55.9	29.8	13.2	67.7	0.9
10	2	5	内容・要旨の把握	読むこと	読む能力	A	77.0	97.0	85.0	48.8	21.9	75.1	0.7
11	3	1-(1)	漢字の読み	伝統的な言語文化と国語の特質	言語についての知識・理解・技能	A	94.1	97.8	95.2	89.1	55.0	42.8	0.9
12	3	1-(2)	漢字の読み	伝統的な言語文化と国語の特質	言語についての知識・理解・技能	A	84.9	98.2	89.7	65.7	27.8	70.4	2.0
13	3	2-(1)	漢字の書き	伝統的な言語文化と国語の特質	言語についての知識・理解・技能	A	82.1	93.5	83.2	63.5	27.8	65.7	1.7
14	3	2-(2)	漢字の書き	伝統的な言語文化と国語の特質	言語についての知識・理解・技能	A	23.8	35.4	26.0	22.5	7.3	28.1	5.4
15	3	3-(1)	文の組み立て	伝統的な言語文化と国語の特質	言語についての知識・理解・技能	A	82.7	90.8	80.2	65.2	35.8	55.0	1.4
16	3	3-(2)	文の成分	伝統的な言語文化と国語の特質	言語についての知識・理解・技能	A	68.5	94.3	70.8	37.1	17.9	76.4	1.3
17	3	4-(1)	書写・辞典の引き方	伝統的な言語文化と国語の特質	言語についての知識・理解・技能	A	51.9	83.1	50.7	21.8	8.6	74.5	17.5
18	3	4-(2)	書写・辞典の引き方	伝統的な言語文化と国語の特質	言語についての知識・理解・技能	A	82.2	92.5	79.0	62.4	27.2	65.3	2.6
19	3	5-(1)	歴史的仮名遣い	伝統的な言語文化と国語の特質	言語についての知識・理解・技能	A	42.2	71.6	36.2	16.1	5.3	66.3	2.1
20	3	5-(2)	歴史的仮名遣い	伝統的な言語文化と国語の特質	言語についての知識・理解・技能	A	76.2	92.9	75.6	54.1	31.1	61.8	3.3
21	1	1	情報の読み取り	読むこと	読む能力	B	55.3	81.1	57.3	25.3	5.3	75.8	3.8
22	1	27	情報の読み取り	読むこと	読む能力	B	59.6	89.3	60.2	23.2	5.3	84.0	8.8
23	1	24	情報の読み取り	書くこと	書く能力	B	43.0	70.9	35.7	12.9	2.0	68.9	12.8
24	1	3	情報の活用	書くこと	書く能力	B	50.9	77.8	49.4	22.2	6.0	71.8	8.1
25	1	4	情報の活用	書くこと	書く能力	B	43.1	68.5	43.0	21.5	6.0	62.5	11.1

※ 全体の数値は、抽出した約1000名分のデータをもとに算出したものです。

中学校国語の状況

① 考察

- 平均正答率は62.9ポイントである。説明的文章や文学的文章の「読むこと」における内容把握の問題や、説明的文章の文章の構成・組み立ての把握に課題がある。

② 間違いの多かった問題例
(問題)

良い成績をおさめる。	陸上大会で、	<table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td style="text-align: center;">三</td> </tr> </table> 問二(2) 次の―― 線のひらがなを、 漢字に直して書きなさい。 (必要なものには、送りが なをつけなさい。)	三
三			

正答 収める
(課題)

- 出題内容「漢字の書き」において、同訓異字を見分けて正確に書く問題に課題がみられる。
(改善のポイント)
- 意味をしっかりと考えながら文章を読む習慣が大切である。特に、同音異義語や同訓異字については、漢字の使い方の意味が変わるので注意が必要である。

(問題)

(1) 部首索引で引く場合の部首名を、ひらがなで答えなさい。	<table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td style="text-align: center;">三</td> </tr> </table> 問四 次の行書で書かれた漢字を漢和辞典で引く場合について、後の問いに答えなさい。	三	<table border="1"> <tr> <td style="font-size: 2em;">然</td> </tr> </table>	然
三				
然				

正答 れっか (れんが)
(課題)

- 出題内容「書写・辞典の引き方」について、辞典の使い方の理解において課題がみられる。
(改善のポイント)
- 行書における点画の省略や筆順の変化など、国語科における書写の指導を充実させることが重要である。また、部首についての指導も大切な漢字学習の要素である。

2 中学校2年:社 会

□ 平均正答率(%)

分類・観点・領域		全体	階層別			
			A層	B層	C層	D層
分類	A B全体	52.7	81.9	62.1	39.1	16.2
	A 知識	61.2	90.7	72.4	46.9	19.8
	B 活用	18.7	46.6	20.8	7.7	1.8
観点	知識・理解	61.9	90.2	73.2	49.5	23.6
	思考・判断・表現	42.0	71.9	50.7	33.6	14.2
	資料活用	54.0	87.6	62.4	41.3	21.5
領域	世界のすがた	83.2	97.0	92.2	74.2	39.2
	日本のすがた	70.9	94.2	82.4	60.0	33.0
	世界各地の人々の生活と環境	37.7	76.8	41.2	25.5	15.3
	世界から見た日本のすがた	55.4	81.9	67.3	47.2	19.0
	世界の諸地域	70.7	94.2	81.9	61.6	28.7
	古代までの日本	55.1	86.6	66.4	44.2	19.3
	中世の日本	49.6	86.5	61.2	35.8	19.8
	近世の日本	37.0	68.2	43.9	24.3	10.2
	世界のさまざまな地域の調査	22.6	59.1	27.2	14.5	2.8

※ 平均正答率:「正答率」の合計÷生徒数(%)

正答率:できた問題数÷全問題数×100(%)

※ 「A層・B層・C層・D層」は、「正答率」を基に上位から4層に分けて表示しています。詳しくは、別添の「A層～D層についてもっと知りたい!」をご覧ください。

※ 観点・領域における「全体」の数値は、抽出した約1000名分のデータをもとに算出したものです。

□ 設問別正答率(%)

結果概要

学習定着状況

◇ 「分類A」 = 「知識」に関する問題、「分類B」 = 「活用」に関する問題

問題番号			出題内容	領域	観点	分類	全体	階層別				A層-D層	児童生徒 の無解答 の割合(%)
通し 番号	大問	小問						A層	B層	C層	D層		
1	1	1	大陸の分布	世界のすがた	知識・理解	A	83.2	97.0	92.2	74.2	38.8	58.2	0.9
2	1	2	日本の経済水域	日本のすがた	知識・理解	A	89.3	97.2	93.7	85.3	57.4	39.8	0.3
3	1	3	時差	日本のすがた	知識・理解	A	52.4	91.3	71.2	34.6	8.4	82.9	5.0
4	1	4	伝統的な住居と気候	世界各地の人々の生活と環境	思考・判断・表現	A	37.7	76.8	41.2	25.5	15.1	61.7	0.5
5	1	5	日本の川	世界から見た日本のすがた	思考・判断・表現	A	76.8	98.0	89.4	75.8	34.2	63.8	0.3
6	1	6	中国の人口とGDP	世界の諸地域	資料活用	A	61.7	91.5	70.8	51.4	33.3	58.2	0.6
7	1	7	アフリカの国境	世界の諸地域	知識・理解	A	79.7	96.9	93.0	71.8	23.9	73.0	7.7
8	1	8	日本の人口問題	世界から見た日本のすがた	知識・理解	A	70.6	93.0	84.0	63.0	25.1	67.9	1.3
9	1	9	世界の経済と産業	世界から見た日本のすがた	思考・判断・表現	A	58.6	95.3	78.1	38.6	11.0	84.3	6.4
10	1	10	日本の交通	世界から見た日本のすがた	思考・判断・表現	A	78.1	97.7	91.8	73.7	35.9	61.8	2.9
11	2	1	中国文明	古代までの日本	知識・理解	A	38.2	71.4	45.9	27.0	14.6	56.8	1.2
12	2	2	大和政権の発展	古代までの日本	知識・理解	A	71.1	97.9	87.2	59.6	23.7	74.2	6.8
13	2	3	律令国家	古代までの日本	思考・判断・表現	A	64.7	90.1	75.9	61.4	30.9	59.2	1.8
14	2	4	摂関政治	古代までの日本	知識・理解	A	46.3	87.2	56.6	28.9	7.4	79.8	2.9
15	2	5(1)	モンゴルの襲来と日本	中世の日本	知識・理解	A	64.1	95.3	78.1	49.2	27.5	67.8	1.7
16	2	5(2)	応仁の乱	中世の日本	知識・理解	A	30.5	75.0	39.1	21.7	14.6	60.4	10.4
17	2	5(3)	中世の日本	中世の日本	思考・判断・表現	A	54.1	89.1	66.4	36.4	17.0	72.1	2.9
18	2	6	豊臣秀吉の事業	近世の日本	知識・理解	A	57.8	89.6	73.8	36.5	11.2	78.4	13.4
19	2	7	武家文化	近世の日本	資料活用	A	46.3	83.8	54.0	31.2	9.3	74.5	1.8
20	2	8	江戸幕府の政治	近世の日本	知識・理解	A	60.0	90.1	64.1	42.5	29.4	60.7	2.5
21	1		オセアニア州	世界のさまざまな地域の調査	思考・判断・表現	B	22.6	59.1	27.2	14.5	2.6	56.5	6.8
22	2		外国人登録者と日本の工業	世界から見た日本のすがた	思考・判断・表現	B	34.3	68.8	44.3	22.3	6.2	62.6	10.8
23	3	1	幕藩体制における外様大名	近世の日本	思考・判断・表現	B	15.8	52.8	19.8	7.0	1.0	51.8	15.7
24	3	2	幕藩体制における関所の意義	近世の日本	思考・判断・表現	B	5.1	24.9	7.6	4.5	0.2	24.7	18.0
25	4	問い	川中島の戦いにおける地理的考察	世界から見た日本のすがた	思考・判断・表現	B	14.2	38.6	15.9	9.7	1.7	36.9	14.8

※ 全体の数値は、抽出した約1000名分のデータをもとに算出したものです。

中学校社会の状況

① 考察

- 平均正答率は52.7ポイントである。「大陸の分布」や「日本の経済水域」については正答率が高いが、「応仁の乱」や「伝統的な住居と気候」などについては低い傾向にある。

② 間違いの多かった問題例
(問題)

25 中世について、資料7のようにまとめた。下の各問いに答えなさい。
(2) 資料7の **B** に入る戦乱名を答えなさい。

資料7 テーマ「中世の政治とアジア
とのかかわり」(一部抜粋)

B
※中世の政治とアジアとのかかわり

- ⑥ この戦いの後、実力のある者が、力をのぼして上の身分の者に打ち勝つ下剋上の風潮が広がる。戦国大名が各地に登場し、戦国時代となる。

正答 | 応仁の乱

(課題)

- 出題内容「応仁の乱」において、応仁の乱後から戦国時代になったことへの理解において課題が見られる。

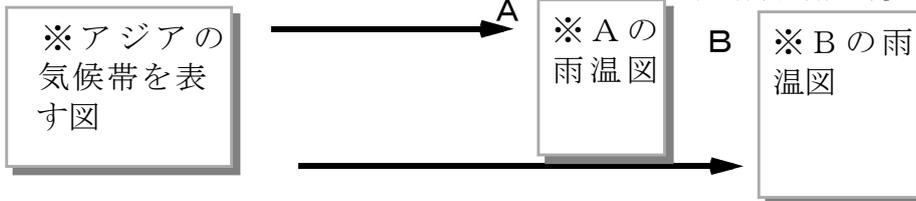
(改善のポイント)

- 応仁の乱がその後の社会に与えた影響などについても考えさせるなど、地方の武士が力をもつようになった時代の移り変わりに気付かせる指導が必要である。

(問題)

14 資料5は、アジアの気候帯とA、Bの地域でみられる雨温図である。A、Bの地域でみられる伝統的な住居を、下のア～エからそれぞれ1つずつ選び、記号で答えなさい。

資料5 | アジアの気候帯とA、Bの地域でみられる雨温図
(「理科年表平成23年」より作成)



- ア ※住居の写真 イ ※住居の写真 ウ ※住居の写真 エ ※住居の写真

正答 | A エ B ア

(課題)

- 出題内容「伝統的な住居と気候」において、住居の特徴と気候との関係を、資料から読み取って考察することに課題がみられる。

(改善のポイント)

- 住居などの衣食住を事例として取り上げるとともに、雨温図などのグラフや主題図などを活用するといった工夫した学習活動に取り組む必要がある。

3 中学校2年:数 学

□ 平均正答率(%)

分類・観点・領域		全体	階層別			
			A層	B層	C層	D層
分類	A B全体	52.9	83.1	61.7	39.4	16.5
	A 知識	62.3	91.7	73.4	48.6	20.5
	B 活用	15.1	48.7	14.8	2.6	0.4
観点	技能	64.0	92.9	76.0	51.6	20.9
	知識・理解	65.0	91.8	74.8	50.5	29.8
	見方や考え方	23.3	59.6	27.3	11.9	5.7
領域	数と式	57.6	88.8	66.7	45.6	20.2
	関数	46.1	82.3	56.4	27.1	9.8
	図形	46.9	72.3	55.7	37.1	18.5
	資料の活用	51.9	87.6	62.8	36.0	19.5

※ 平均正答率:「正答率」の合計÷生徒数(%)

正答率:できた問題数÷全問題数×100(%)

※ 「A層・B層・C層・D層」は、「正答率」を基に上位から4層に分けて表示しています。詳しくは、別添の「A層～D層についてもっと知りたい!」をご覧ください。

※ 観点・領域における「全体」の数値は、抽出した約1000名分のデータをもとに算出したものです。

□ 設問別正答率 (%)

結果概要

学習定着状況

◇ 「分類A」 = 「知識」に関する問題、「分類B」 = 「活用」に関する問題

問題番号			出題内容	領域	観点	分類	全体	階層別				A層-D層	児童生徒 の無解答 の割合(%)
通し 番号	大問	小問						A層	B層	C層	D層		
1	1	(1)	負の数の減法	数と式	技能	A	90.7	98.4	95.4	90.9	57.9	40.5	0.5
2	1	(2)	四則を含む式の計算	数と式	知識・理解	A	69.9	94.4	78.2	51.7	28.8	65.6	0.6
3	1	(3)	負の分数の大小	数と式	知識・理解	A	49.2	81.3	48.8	29.1	27.5	53.8	1.0
4	1	(4)	カッコがある式の計算	数と式	技能	A	74.4	93.3	87.5	70.0	22.1	71.2	1.8
5	1	(5)	文字式の表し方	数と式	技能	A	43.0	92.6	57.5	13.3	3.1	89.5	9.0
6	2	(1)	大小関係を表す式	数と式	技能	A	45.7	87.5	61.7	27.9	7.6	79.9	5.3
7	2	(2)	比例式	数と式	技能	A	77.8	97.9	92.5	72.9	20.3	77.6	3.7
8	2	(3)	方程式の解き方	数と式	技能	A	84.7	97.2	93.7	84.8	32.3	64.9	3.8
9	2	(4)	連立方程式の解の意味	数と式	知識・理解	A	78.5	95.8	88.4	69.6	48.3	47.5	1.8
10	2	(5)	連立方程式の解き方	数と式	技能	A	67.9	94.1	85.8	62.5	10.0	84.1	4.5
11	3	(1)	関数関係の判断	関数	見方や考え方	A	42.3	72.3	48.8	27.7	13.8	58.5	1.3
12	3	(2)	比例のグラフ	関数	技能	A	59.3	93.0	74.3	41.1	11.8	81.2	4.7
13	3	(3)	反比例のグラフ	関数	技能	A	36.6	81.7	45.9	12.6	3.7	78.0	10.4
14	4	(1)	線対称移動	図形	技能	A	89.6	95.4	92.5	84.9	66.4	29.0	1.6
15	4	(2)	扇形の面積	図形	技能	A	50.8	92.2	66.3	28.5	7.4	84.8	13.9
16	4	(3)	中点の作図	図形	技能	A	75.2	98.0	89.4	68.5	24.2	73.8	8.8
17	5	(1)	直線と直線の位置関係	図形	知識・理解	A	70.6	95.8	88.1	61.2	24.7	71.1	3.3
18	5	(2)	円錐の体積	図形	技能	A	36.2	85.9	45.0	12.6	4.4	81.5	16.2
19	6	(1)	資料の代表値	資料の活用	知識・理解	A	57.1	91.7	70.4	40.8	19.9	71.8	3.1
20	6	(2)	資料の傾向	資料の活用	見方や考え方	A	46.8	83.6	55.1	31.2	19.2	64.4	3.0
21	1	(1)	文字式の利用	数と式	見方や考え方	B	22.5	77.6	30.4	7.5	1.3	76.3	8.4
22	1	(2)	文字式の利用	数と式	見方や考え方	B	28.4	82.4	31.3	9.1	2.8	79.6	15.1
23	1	(3)	文字式の利用	数と式	見方や考え方	B	16.5	62.4	16.5	4.1	0.9	61.5	16.4
24	2	(1)	長方形を切り取り、組み 合わせるとできる正方形	図形	見方や考え方	B	1.7	18.3	3.1	1.8	0.9	17.4	19.2
25	2	(2)	長方形を切り取り、組み 合わせるとできる正方形	図形	見方や考え方	B	4.5	20.3	5.9	2.3	1.3	19.0	27.7

※ 全体の数値は、抽出した約1000名分のデータをもとに算出したものです。

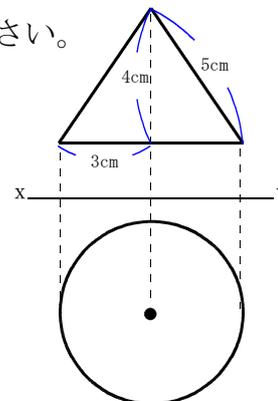
中学校数学の状況

① 考察

- 「負の数の減法」、「線対称移動の作図」などについては正答率が高いが、「円錐の体積」、「反比例のグラフ」などについては低い傾向にある。

② 間違いの多かった問題例
(問題)

- 5** (2) 次の投影図で表された立体の体積を求めなさい。
ただし、円周率は π とする。



正 答 $12\pi \text{ cm}^3$

(課題)

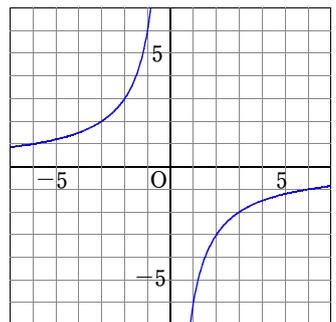
- 出題内容「円錐の体積」において、投影図で示された円錐の体積を求めることに課題がみられる。無解答率が高い問題である。

(改善のポイント)

- 体積の求め方を説明する活動を通して、体積を求めるために必要な数値を判断させ、公式等を用いて正しく求めさせる指導が必要である。

(問題)

- 3** (3) 次の双曲線そうきょくせんにおいて、 x と y の関係を式に表しなさい。



正 答 $y = -\frac{6}{x}$

(課題)

- 出題内容「反比例のグラフ」において、反比例のグラフを読み取り、変数 x 、 y の間の関係を式に表すことに課題がみられる。

(改善のポイント)

- 他の関数との違いにも着目させ、反比例の特徴について、表、式、グラフを相互に関連付けながら理解させる指導が必要である。

4 中学校2年:理 科

□ 平均正答率(%)

分類・観点・領域		全体	階層別			
			A層	B層	C層	D層
分類	A B全体	55.8	84.8	61.7	39.2	17.6
	A 知識	62.3	88.9	69.1	46.6	21.6
	B 活用	30.2	68.5	32.0	9.8	2.0
観点	知識・理解	61.8	87.6	68.5	47.7	23.9
	思考・表現	51.0	83.5	57.1	34.0	16.6
	技能	19.3	54.9	17.1	5.0	1.8
領域	生物的領域	69.5	92.2	77.0	56.3	28.9
	地学的領域	48.6	82.6	53.2	33.4	16.1
	物理的領域	46.6	76.2	49.7	30.6	16.8
	化学的領域	59.9	89.1	69.6	43.3	19.1

※ 平均正答率:「正答率」の合計÷生徒数(%)

正答率:できた問題数÷全問題数×100(%)

※ 「A層・B層・C層・D層」は、「正答率」を基に上位から4層に分けて表示しています。詳しくは、別添の「A層～D層についてもっと知りたい!」をご覧ください。

※ 観点・領域における「全体」の数値は、抽出した約1000名分のデータをもとに算出したものです。

□ 設問別正答率 (%)

結果概要

学習定着状況

◇ 「分類A」 = 「知識」に関する問題、「分類B」 = 「活用」に関する問題

問題番号			出題内容	領域	観点	分類	全体	階層別				A層-D層	児童生徒 の無解答 の割合(%)
通し 番号	大問	小問						A層	B層	C層	D層		
1	1	1	花のつくりとはたらき	生物的領域	知識・理解	A	73.5	90.4	77.6	65.0	38.0	52.4	0.1
2	1	2	花のつくりとはたらき	生物的領域	知識・理解	A	93.4	97.9	97.4	91.8	60.6	37.3	1.1
3	1	3	花のつくりとはたらき	生物的領域	思考・表現	A	48.4	88.3	57.6	25.2	9.7	78.6	1.7
4	2	1	葉の特徴	生物的領域	知識・理解	A	74.0	95.1	85.4	56.8	14.0	81.1	5.0
5	2	2	茎の特徴	生物的領域	知識・理解	A	69.3	94.2	80.7	55.6	20.1	74.1	4.6
6	2	3	葉、茎、根の関連付け	生物的領域	思考・表現	A	58.4	87.4	63.4	43.2	28.3	59.1	0.8
7	3	1	火成岩の種類	地学的領域	知識・理解	A	36.4	76.0	41.1	16.9	5.0	71.0	12.2
8	3	2	火成岩のでき方	地学的領域	思考・表現	A	40.5	78.5	43.9	24.3	12.2	66.3	1.7
9	4	1	地震の揺れ	地学的領域	知識・理解	A	93.2	98.2	96.5	89.8	53.8	44.4	0.9
10	4	2	地震の揺れの伝わり方	地学的領域	知識・理解	A	54.7	91.5	65.0	36.2	15.8	75.7	1.3
11	5	1	弦の長さとの関係	物理的領域	知識・理解	A	75.8	92.6	82.3	61.3	41.6	51.0	0.7
12	5	2	モノコードの弦の振動とオシロスコープの波形との関係	物理的領域	思考・表現	A	74.3	95.8	79.0	62.3	44.1	51.7	0.9
13	6	1	圧力	物理的領域	知識・理解	A	17.8	57.5	14.3	6.7	4.7	52.8	4.0
14	6	2	圧力	物理的領域	知識・理解	A	74.7	94.0	81.7	55.5	20.8	73.2	3.6
15	7	1	物質の密度	化学的領域	知識・理解	A	34.9	81.1	43.8	14.1	7.2	73.9	22.9
16	7	2	物質の密度	化学的領域	思考・表現	A	81.8	98.0	90.4	71.2	40.1	57.9	1.7
17	8	1	液体の混合物の分離(蒸留)	化学的領域	知識・理解	A	44.4	77.5	49.1	32.5	11.5	66.0	2.9
18	8	2	液体の混合物の分離(蒸留)	化学的領域	知識・理解	A	44.4	88.4	55.2	17.6	7.2	81.2	14.3
19	9	1	物質の分解(水の電気分解)	化学的領域	思考・表現	A	75.3	97.2	90.7	57.0	17.6	79.6	2.5
20	9	2	物質の分解(水の電気分解)	化学的領域	知識・理解	A	78.4	92.3	88.3	67.6	31.5	60.8	6.5
21	1	1	堆積岩の種類	地学的領域	思考・表現	B	42.7	83.3	47.2	24.6	7.9	75.4	2.4
22	1	2	地層のでき方	地学的領域	思考・表現	B	24.3	68.1	25.7	8.5	2.2	65.9	12.9
23	2	1	光の反射	物理的領域	思考・表現	B	44.2	86.0	54.6	18.7	2.5	83.5	11.3
24	2	2(1)	光の反射	物理的領域	技能	B	19.3	54.9	17.1	5.0	1.4	53.5	14.4
25	2	2(2)	光の反射	物理的領域	思考・表現	B	20.1	52.7	19.0	4.9	1.4	51.3	25.4

※ 全体の数値は、抽出した約1000名分のデータをもとに算出したものです。

中学校理科の状況

① 考察

- 平均正答率は55.8ポイントである。「花のつくりとはたらき」、「地震の揺れ」などについては正答率が高いが、「火成岩の種類」、「圧力」などについては低い傾向にある。

② 間違いの多かった問題例
(問題)

- 3** 1 **図1**は、ある火成岩を偏光顕微鏡で観察し、スケッチしたものです。
図1のような岩石のつくりを何といいますか。

図1

※岩石のつくり
を表す図

正 答 | **等粒状組織**

(課題)

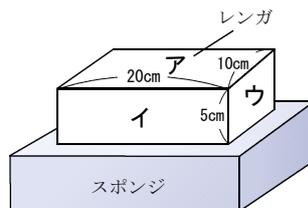
- 出題内容「火成岩の種類」において、火成岩の種類のちがいによる組織のちがいを、図をもとに判断することに課題がみられる。

(改善のポイント)

- 花崗岩や安山岩など、代表的な火山岩と深成岩を実際に観察し、観察結果をもとにそれぞれの岩石の名称とつくりの違いを関連付けながら、理科の用語を定着させることが大切である。

(問題)

- 6** 1 スポンジが最も深くへこむのは、レンガの**ア**～**ウ**のどの面を下にしたときですか。記号で答えなさい。また、このとき、スポンジにはたらく圧力は、何N/m²になりますか。ただし、100gの物体にはたらく重力の大きさを1Nとします。



正 答 | **ウ、2000N/m²**

(課題)

- 出題内容「圧力」において、スポンジにはたらく圧力の大きさを計算により求めることに課題がみられる。

(改善のポイント)

- はたらく力の大きさや面積の条件を変えながら、繰り返し計算を行うことや、モデル等を用いてはたらく力の大きさと面積のイメージをもたせることが大切である。

5 中学校2年:英 語

□ 平均正答率(%)

分類・観点・領域		全体	階層別			
			A層	B層	C層	D層
分類	A B全体	57.7	85.3	62.1	39.0	19.1
	A 知識	63.5	90.0	68.5	45.5	23.5
	B 活用	34.4	66.6	36.5	12.9	1.5
観点	理解	65.9	86.9	71.5	50.6	30.2
	表現	48.5	81.1	55.7	27.0	6.5
	知識・理解	29.5	77.5	23.6	7.9	4.1
領域	聞くこと	84.3	93.8	87.4	78.1	54.8
	聞くこと書くこと	61.3	91.0	74.6	39.1	9.6
	読むこと	60.8	88.4	68.5	39.8	18.6
	書くこと	32.6	74.4	30.3	11.3	3.7
	読むこと書くこと	31.2	60.4	35.9	11.1	2.4

※ 平均正答率:「正答率」の合計÷生徒数(%)

正答率:できた問題数÷全問題数×100(%)

※ 「A層・B層・C層・D層」は、「正答率」を基に上位から4層に分けて表示しています。詳しくは、別添の「A層～D層についてもっと知りたい!」をご覧ください。

※ 観点・領域における「全体」の数値は、抽出した約1000名分のデータをもとに算出したものです。

□ 設問別正答率(%)

結果概要

学習定着状況

◇「分類A」＝「知識」に関する問題、「分類B」＝「活用」に関する問題

問題番号			出題内容	領域	観点	分類	全体	階層別				A層-D層	児童生徒 の無解答 の割合(%)
通し 番号	大問	小問						A層	B層	C層	D層		
1	1	No.1	指示している内容の理解	聞くこと	理解	A	98.3	98.0	97.4	96.9	86.5	11.5	0.1
2	1	No.2	指示している内容の理解	聞くこと	理解	A	95.8	98.3	96.1	93.6	73.6	24.7	0.3
3	1	No.3	指示している内容の理解	聞くこと	理解	A	96.7	97.9	95.6	92.8	75.9	22.0	0.5
4	2	No.1	電話での会話表現の理解	聞くこと	理解	A	86.5	95.7	91.2	78.6	42.6	53.1	0.7
5	2	No.2	電話での会話表現の理解	聞くこと	理解	A	82.8	96.2	91.0	72.5	28.7	67.5	0.6
6	2	No.3	電話での会話表現の理解	聞くこと	理解	A	45.9	76.7	52.9	34.4	20.8	55.9	0.5
7	3	(1)	ラジオ放送における内容理解及び表現	聞くこと書くこと	表現	A	61.8	90.9	75.6	42.1	11.9	79.0	7.6
8	3	(2)	ラジオ放送における内容理解及び表現	聞くこと書くこと	表現	A	63.7	88.5	74.7	42.6	8.6	79.9	5.8
9	3	(3)	ラジオ放送における内容理解及び表現	聞くこと書くこと	表現	A	58.4	93.6	73.3	32.8	6.9	86.7	7.7
10	4	1(1)	対話文の内容理解	読むこと	理解	A	59.4	90.6	65.3	40.0	21.5	69.1	0.5
11	4	1(2)	対話文の内容理解	読むこと	理解	A	61.9	89.4	68.2	43.3	24.4	65.0	0.6
12	4	2(1)	対話文の内容理解	読むこと	理解	A	66.8	95.3	82.1	48.0	14.9	80.4	2.8
13	4	2(2)	対話文の内容理解	読むこと	理解	A	82.6	95.8	89.7	62.6	25.7	70.1	1.0
14	4	2(3)	対話文の内容理解	読むこと	理解	A	45.7	79.4	55.4	23.9	6.9	72.5	7.5
15	5	1(1)	言語の使用場面と表現の理解	読むこと	理解	A	56.1	72.9	57.5	42.3	23.1	49.8	1.8
16	5	2(2)	言語の使用場面と表現の理解	読むこと	理解	A	49.2	89.6	54.7	26.7	14.2	75.4	0.8
17	5	2(3)	言語の使用場面と表現の理解	読むこと	理解	A	64.4	94.2	74.8	31.7	15.8	78.4	1.9
18	6	(1)	説明文の理解と語彙の表現	書くこと	知識・理解	A	34.8	79.6	27.5	10.1	4.3	75.3	8.6
19	6	(2)	説明文の理解と語彙の表現	書くこと	知識・理解	A	27.6	77.0	22.7	5.6	3.3	73.7	10.0
20	6	(3)	説明文の理解と語彙の表現	書くこと	知識・理解	A	26.3	75.9	20.7	7.9	4.3	71.6	11.8
21	1	問い	身近な生活に関する表現	書くこと	表現	B	61.4	90.2	71.9	37.0	5.6	84.6	9.1
22	1	問い	身近な生活に関する表現	書くこと	表現	B	26.3	70.0	24.7	5.0	3.3	66.7	19.6
23	2	1(ア)	まとまりのある英文の内容を理解	読むこと書くこと	理解	B	55.4	90.4	66.4	19.8	3.6	86.8	15.2
24	2	1(イ)	まとまりのある英文の内容を理解	読むこと書くこと	理解	B	7.1	30.5	5.4	2.3	1.0	29.5	15.7
25	2	2	与えられたテーマに関する表現	書くこと	表現	B	19.6	53.4	14.2	2.5	1.3	52.1	22.4

※ 全体の数値は、抽出した約1000名分のデータをもとに算出したものです。

中学校英語の状況

① 考察

- 平均正答率は57.7ポイントである。「指示している内容の理解」、「電話での会話表現の理解」については正答率が高いが、「説明文の理解と語彙の表現」、「対話文の内容理解」については低い傾向にある。

② 間違いの多かった問題例
(問題)

- ⑥ 次の(1)～(3)の英文を読み、説明されているものを、それぞれ**英単語1語**で書きなさい。

- (2) It is a season of the year. People can enjoy some sports. For example, they can ski and skate. It is very cold in this season.

正 答	winter
-----	--------

(課題)

- 出題内容「説明文の理解と語彙の表現」において、英文で説明されているものを英単語で書くことに課題がみられる。

(改善のポイント)

- 語彙指導の際に、単語の意味や綴りを暗記させるだけでなく、言語活動において活用することを通して定着を図る指導が必要である。

(問題)

- ④ 2(3)下線部③は何を指しますか、対話文の中から抜き出し、**英語2語**で書きなさい。

《中略》

Ken : I like rock music very much.

Tom : Who is your favorite musician?

Ken : I like *Winwood. He plays the guitar very well. I think (②).

Tom : I think so too.

Ken : I have his CDs. Let's listen to ③ them.

Tom : Good idea!

正 答	his CDs
-----	---------

(課題)

- 出題内容「対話文の内容理解」において、対話文中の代名詞が指すものを理解することに課題がみられる。

(改善のポイント)

- 英文で書かれている内容を正しく理解するために、代名詞が示すものを適切に理解し、文脈等を意識して読み進める力を育てる指導が必要である。

II-3 各教育事務所の状況

1 《中部教育事務所》
【小学校第5学年】
各教科の状況

小学校国語の状況

① 考察

- ・ 「読むこと」の領域の内容の理解に課題がみられる。

② 間違いの多かった問題例
(問題)

ウ ア 板 結 エ イ 柱 続	三問四 漢字辞典で、 次のア、エの漢字を調 べます。部首さくじん で調べる場合に、一番 はじめに出てくる漢字 を選び、記号で答え ましょう。
------------------------------------	--

正 答 ウ

(課題)

- ・ 出題内容「漢字辞典の用法」について、辞典の使い方の理解において課題がみられる。

(改善のポイント)

- ・ 単に辞典の引き方の指導に終始することなく、「こんなことがわかるんだ」というような、漢字辞典を引く目的や効用を実感できる課題を与え、漢和辞典を引く動機付けを行うことが重要である。

小学校社会の状況

① 考察

- ・ 「主な国の名称と位置」や「浄水場の取組」などについては正答率が高いが、「スギ生産と地形等との関連」などについては低い傾向にある。

② 間違いの多かった問題例
(問題)

4 6 くみさんは、資料1～4をもとに、次のように自分の考えをまとめました。
 次の **A**、**B** に入る言葉の組み合わせとして最もふさわしいものを、
 下のア～エから1つ選び、記号で答えましょう。

※ 資料1～4は、本資料2ページ「小学校社会の現状」の資料を参照

くみさんの考え

宮崎県では、**A** 地形を利用し **B** 森林を守り育ててきたことで、
 「スギ素材生産量日本一」を何年も続けているのではないかと思います。

- | | |
|--------------|--------|
| ア A-平地の多い | B-わずかな |
| イ A-山地やおかの多い | B-わずかな |
| ウ A-平地の多い | B-ゆたかな |
| エ A-山地やおかの多い | B-ゆたかな |

正 答 エ

(課題)

- ・ 出題内容「スギ生産と地形等との関連」について、スギの生産と宮崎県の土地の様子などを関連付けて考えることに課題がみられる。

(改善のポイント)

- ・ 資料から必要な情報を読み取らせたり、資料に表されている事柄の全体的な傾向をとらえたりする活動を通して、社会的事象の特色や相互の関連などについて考えさせる指導が必要である。

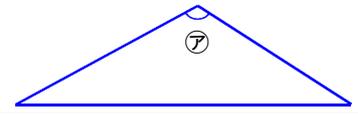
小学校算数の状況

① 考察

- ・ 「折れ線グラフの読み取り」、「変わり方に着目し、数量を求めること」などについては正答率が高いが、「大きな数の大小関係」、「分度器を使った角の大きさの測定」などについては、低い傾向にある。

② 間違いの多かった問題例
(問題)

- 3**(1) 次の三角形の⑦の角の大きさを、分度器を使ってはかり、答えましょう。



正 答 | 1 1 5 °

(課題)

- ・ 出題内容「分度器を使っての角の大きさの測定」について、三角形の1つの角の大きさを、分度器を使って測定することに課題がみられる。

(改善のポイント)

- ・ 分度器を使って角の大きさを測定したり、必要な大きさの角をつくったりする指導が必要である。

小学校理科の状況

① 考察

- ・ 「植物が成長する条件」、「日陰の位置の変化」などについては正答率が高いが、「人の筋肉のつくりと運動」などについては低い傾向にある。

② 間違いの多かった問題例
(問題)

- 3** 2 りかさんは、うでを曲げたりのぼしたりしたときに、きん肉がちぢんだり、ゆるんだりすることについて調べました。きん肉がちぢんでいるところを、次の図の**ア**～**エ**から**すべて**選び、記号で答えましょう。



正 答 | ア、エ

(課題)

- ・ 出題内容「人の筋肉のつくりと運動」において、腕の曲げたりのぼしたりしたときの筋肉のようすについて考えることに課題がみられる。

(改善のポイント)

- ・ 腕を動かしたときの筋肉のようすについて、実際に自分の腕を動かして確かめながら、腕の動きと筋肉のようすを関連付けたり、他の動物の観察やモデルの活用を行い、理科の用語を定着させたりすることが大切である。

【中学校第2学年】
各教科の状況

中学校国語の状況

① 考察

・ 「読むこと」についての領域の内容の把握に課題がみられる。

② 間違いの多かった問題例
(問題)

<p>(2) 総画索引で引く場合は、何画を引くとよいか、その数を答えなさい。</p>		<p>問四 次の行書で書かれた漢字を漢和辞典で引く場合について、後の問いに答えなさい。</p>
--	---	---

正 答 十二 (12)
(課題)

・ 出題内容「書写・辞典の引き方」について、辞典の使い方の理解において課題がみられる。

(改善のポイント)

・ 行書における点画の省略や筆順の変化など、書写の指導と国語科の指導を関連付けて指導することが大切である。また、日常的に辞書を引く習慣を身に付けさせたい。

中学校社会の状況

① 考察

・ 「大陸の分布」や「日本の経済水域」などは 正答率が高いが、「摂関政治」などについては低い傾向にある。

② 間違いの多かった問題例
(問題)

2 4 平安時代の藤原氏の政治について、資料6を参考にまとめた。まとめの **A** に入る最も適切な内容を、下のア～エから1つ選び、記号で答えなさい。また、 **B** に入る適切な語を答えなさい。

資料6 皇室と藤原氏
の関係



まとめ

平安時代は貴族が力をのびた時代です。なかでも藤原氏は、 **A** ことで、政治の実権をにぎりました。
この藤原氏が行った政治を **B** といいます。特に藤原道長と、その子の頼通のころが、最も安定し、藤原氏は、朝廷の
高い地位をほとんど独占していました。

- ア 娘を天皇にし、自分が天皇の補佐役になる
- イ 息子を天皇にし、天皇の親となる
- ウ 天皇のきさきを養子にして、天皇の親となる
- エ 娘を天皇のきさきにし、その子を次の天皇に立てる

正 答 エ、摂関政治
(課題)

・ 出題内容「摂関政治」について、摂関政治の内容の理解において課題がみられる。

(改善のポイント)

・ 藤原氏が行った摂関政治について、言葉や図などを用いて表現する活動を通して、平安時代における貴族の政治の特色をとらえさせる指導が必要である。

中学校数学の状況

① 考察

- ・ 「線対称移動の作図」、「負の数の減法」などについては正答率が高いが、「反比例のグラフ」、「負の分数の大小」などについては低い傾向にある。

② 間違いの多かった問題例
(問題)

1 (3) 次の に不等号を書き入れて、2数の大小を表しなさい。

$$-\frac{5}{13} \quad \boxed{} \quad -\frac{5}{12}$$

正 答 >
(課題)

- ・ 出題内容「負の分数の大小」について、2つの分数の大小の関係を不等号を用いて表すことに課題がみられる。

(改善のポイント)

- ・ 数の概念を深め、数直線上に表すことで、大小の比較ができることを理解する指導が必要である。

中学校理科の状況

① 考察

- ・ 「火成岩の作り方」、「モノコードの弦の振動とオシロスコープの波形との関係」などについては正答率が高いが、「火成岩の種類」や「物質の分解(水の電気分解)」などについては低い傾向にある。

② 間違いの多かった問題例
(問題)

9 1 図2のアにたまった気体にマッチの火を近づけると、その気体は音を立てて燃え、イにたまった気体に火のついた線香を入れると、線香が激しく燃えました。ア、イそれぞれに発生した気体名を答えなさい。

図 2

※気体がたまっ
たときの実験装置の
図

正 答 ア 水素 イ 酸素
(課題)

- ・ 出題内容「物質の分解(水の電気分解)」において、装置の上部にたまった気体の体積や実験結果から、発生した気体を特定することに課題がみられる。

(改善のポイント)

- ・ 第1学年の学習内容をもとに、発生した気体を生徒が主体的に調べたり、化学式と関連付けて発生した気体について考えたりする学習を行うことが大切である。

中学校英語の状況

① 考察

- ・ 「ラジオ放送における内容理解及び表現」、「対話文の内容理解」などについては正答率が高いが、「言語の使用場面と表現の理解」、「説明文の理解と語彙の表現」の一部については低い傾向にある。

② 間違いの多かった問題例
(問題)

6 次の(1)～(3)の英文を読み、説明されているものを、それぞれ英単語1語で書きなさい。

(1) It is a language. It has *hiragana*, *katakana* and *kanji*. Many people study it in Japan and in many other countries.

正 答 Japanese
(課題)

- ・ 出題内容「説明文の理解と語彙の表現」において、英文で説明されているものを英単語で書くことに課題がみられる。

(改善のポイント)

- ・ 語彙指導の際に、単語の意味や綴りを暗記させるだけでなく、言語活動において活用することを通して定着を図る指導が必要である。

2 《南部教育事務所》
【小学校第5学年】
各教科の状況

小学校国語の状況

① 考察

・ 「読むこと」についての領域の接続詞の選択や 文章構成の理解に課題がみられる。

② 間違いの多かった問題例
(問題)

学校だ。 オ	建物は、 ウ ぼくの エ	あそこに ア 見える イ	う。 主語と述語をそれぞれ 選び記号で答えましょ う。	問五 (1) 次の文の 線ア、オの中から、 主語と述語をそれぞれ 選び記号で答えましょ う。
-----------	-----------------------	-----------------------	--------------------------------------	---

正 答	主語 ウ 述語 オ
-----	--------------------

(課題)

・ 出題内容「主語の理解」について、文に即して正しく述語をとらえることに課題がみられる。

(改善のポイント)

・ 文における主語や述語の役割を十分に理解させたり、文節同士の関係を明確に理解させたりすることで、確実な読む力を育成することが大切である。

小学校社会の状況

① 考察

・ 「世界の主な海洋」や「主な国の名称と位置」 などについては正答率が高いが、「浄水場の取組」などについては低い傾向にある。

② 間違いの多かった問題例
(問題)

3 2 (1) 資料3～5からわかることとして正しいものを、次のア～エから1つ選び、記号で答えましょう。

資料3	資料4	資料5
※浄水場が水をきれいにす しくみを表す図	※機械の動きや水 の量を24時間かん ししているのを表 す図	※取り入れた水や 送り出す水が、安 全かどうか調べて いる図

- ア 浄水場では、取り入れた川の水をきれいにし、家庭へ送り出している。
- イ 浄水場では、薬を使わずに、自然の力だけで水をきれいにしている。
- ウ 浄水場の水質試験室では、24時間水の量をかんししている。
- エ 浄水場では、ちんさ池、ろか池、ちんでん池の順に水が送られている。

正 答	ア
-----	---

(課題)

・ 出題内容「浄水場の取組」について、資料から浄水場の取組について読み取ること

(改善のポイント)

・ 資料から必要な情報を読み取ったり、資料に表されている事柄の全体的な傾向をとらえさせたりするなどの活動を通して、社会的事象の特色や相互の関連などについて考えさせる指導が必要である。

小学校算数の状況

① 考察

- 「折れ線グラフの読み取り」、「合同な図形の作図」などについては正答率が高いが、「およその面積」、「計算の順序」などについては、低い傾向にある。

② 間違いの多かった問題例
(問題)

2 (1) $- 6 \div 2 = 5$ の にあてはまる数を、次のア～ウから1つ選び、記号で答えましょう。

ア 16 イ 8 ウ 2

正 答 イ

(課題)

- 出題内容「計算の順序」について、四則計算が混合している計算の順序の理解に課題がみられる。

(改善のポイント)

- 四則計算の順序を正しく理解させながら、基礎的・基本的な計算の技能の習熟を図る指導が必要である。

小学校理科の状況

① 考察

- 「空気の温まり方」については正答率が高いが、「磁石の性質」、「メダカの卵の受精」などについては低い傾向にある。

② 間違いの多かった問題例
(問題)

6 3 ようすけさんが、**図2**のように、じしゃくについた3本のくぎをじしゃくからはなしても、くぎはつながったままでした。くぎは何になったといえますか。また、このことをたしかめる方法を、下のア～ウから1つ選び、記号で答えましょう。

図2

※じしゃくについた3本のくぎの図



※じしゃくから3本のくぎを手ではなした図

- ア ガラスに近づける。
イ 方位じしんに近づける。
ウ ゴムに近づける。

正 答 じしゃく、イ

(課題)

- 出題内容「磁石の性質」において、磁石についた釘は磁力をもつこと及びこのことを確かめる方法を選ぶことに課題がみられる。

(改善のポイント)

- 実験を行い、その結果から鉄も磁石に触れることで磁力をもつようになることを見いだすことができるよう学習を工夫することが大切である。

【中学校第2学年】
各教科の状況

中学校国語の状況

① 考察

- ・ 「読むこと」についての領域の内容の把握に課題がみられる。

② 間違いの多かった問題例
(問題)

<p>オエウイア</p> <p>独接修述主 立統飾部部 部部部</p>	<p>えなさい。</p> <p>ら一つ選 び、記号 で答えな さい。</p>	<p>(2)</p> <p>分として、 最も適切 なもの、 次のア、 オか</p>	<p>線 の文の 成分</p>	<p>やかな人だ。</p> <p>彼は、明 るくてさ わ</p>	<p>問三</p> <p>次の文に ついて、 後の問い に答えな さい。</p>
---	--	---	-------------------------	--	--

正 答 ウ

(課題)

- ・ 出題内容「文の成分」について、連文節の働きを理解において課題がみられる。
(改善のポイント)
- ・ 文章を正しく読むためには、文の成分のはたらきや文の組み立てをしっかりと理解することが大切である。

中学校社会の状況

① 考察

- ・ 「大陸の分布」や「日本の経済水域」などについては正答率が高いが、「武家文化」などについては低い傾向にある。

② 間違いの多かった問題例
(問題)

2 7 次の<視点>に当てはまる文化財を、
下のア～エから2つ選び、記号で答えなさい。

<p>〈視点〉武家の好みや気風をあらわしている文化財</p>	
<p>ア 正倉院</p> <p>※正倉院</p>	<p>イ 阿弥陀如来像</p> <p>※阿弥陀如来像</p>
<p>ウ 東求堂同仁齋</p> <p>※東求堂同仁齋</p>	<p>エ 姫路城</p> <p>※姫路城</p>

正 答 ウ、エ

(課題)

- ・ 出題内容「武家文化」については、武家の好みや気風をあらわした文化財を資料から読み取ることに課題がみられる。
(改善のポイント)
- ・ 各時代の文化の学習においては、代表的な事例を選んで取り上げ、各時代の文化の特色についてとらえさせる指導が必要である。

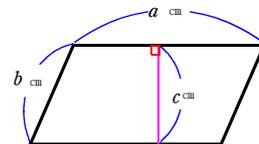
中学校数学の状況

① 考察

- 「線対称移動の作図」、「負の数の減法」などについては正答率が高いが、「円錐の体積」、「文字式の表し方」などについては、低い傾向にある。

② 間違いの多かった問題例 (問題)

- 1**(5) 次の図は、2辺の長さが a cm, b cm, 高さが c cmの平行四辺形です。このとき、平行四辺形の周の長さを式に表しなさい。



正 答 $2(a + b)$ cm

(課題)

- 出題内容「文字式の表し方」について、文字式を使って平行四辺形の周の長さを表すことに課題がみられる。

(改善のポイント)

- 文字式で表すのに必要な情報を適切に判断し、文字が表す数量とその関係を正しく読み取らせる指導が必要である。

中学校理科の状況

① 考察

- 「物質の分解(水の電気分解)」、「花のつくりとはたらき」などについては正答率が高いが、「弦の長さと言音の関係」、「液体の混合物の分離(蒸留)」などについては低い傾向にある。

② 間違いの多かった問題例 (問題)

- 8** 1 3本の試験管①, ②, ③にたまった液体をそれぞれ蒸発皿に移し、マッチの火を近づけました。最も長く燃え続けたのは、どの試験管にたまった液体ですか。①~③から1つ選び、番号で答えなさい。

① ② ③

※3本の試験管の図

出てきた液体を順に①, ②, ③の試験管に集める

正 答 ①

(課題)

- 出題内容「液体の混合物の分離(蒸留)」において、沸点の低い物質がはじめに出てくることを、実験結果をもとに判断することに課題がみられる。

(改善のポイント)

- 蒸留に関する身近な事例を取り上げて、蒸留の有用性を実感させたり、実験を通して、基礎的・基本的な実験技能や結果をもとに科学的に考察する能力を身に付けさせることが大切である。

中学校英語の状況

① 考察

- ・ 「指示している内容の理解」、「対話文の内容理解」の一部などについては正答率が高いが、「電話での会話表現の理解」、「説明文の理解と語彙の表現」などについては低い傾向にある。

② 間違いの多かった問題例
(問題)

- 2** (放送を聞いて答える問題)
《省略》対話の内容についての質問に対して、最も適切なものを、No. 1 ~ No. 3にあるア~エの中からそれぞれ1つ選び、記号で答えなさい。

【放送文】《一部省略》

M: It's 10:15 now. How about 11:50 at Himuka station? The train will leave at 12:15.

F2: OK.

No. 3 What time will the train leave?

ア At 10:15. イ At 11:50.

ウ At 12:15. エ At 12:30.

正 答	ウ
-----	---

(課題)

- ・ 出題内容「電話での会話表現の理解」において、自然な口調で話される対話の内容を聞き取り、その内容に関する質問に正しく応答することに課題がみられる。

(改善のポイント)

- ・ 言語活動をとおして、発音の特徴に気を付けて聞き取るように指導することが大切である。また、内容を総合的に聞き取る力を身に付けさせるために、場面を想像しながら聞き取る活動の充実が求められる。

3 《北部教育事務所》
【小学校第5学年】
各教科の状況

小学校国語の状況

① 考察

・ 「読むこと」領域についての、文章構成の理解や指示語の働きについての理解に課題がみられる。

② 改善のためのポイント
(問題)

<p>ウ ア 塩 時 間 エ イ 油 言 葉</p>	<p>意味(むだ話などをして、 なまけること。)</p>	<p>の だ ら う。 た ぶ ん を 売 っ て い る</p>	<p>は、 お つ か い に 出 か け た 姉 は、 ま だ 帰 っ て こ な い。</p>	<p>記 号 で 答 え ま し よ う。</p>	<p>問三 次の文の□にあてはまる言葉を、(ア～エ)の内 の意味になるように、あとのア～エから一つ選び、記号で答えましょう。</p>
--	----------------------------------	---	---	---	--

正 答 エ
(課題)

・ 出題内容「慣用句の使い方」について、文脈の中で慣用句を使うことに課題がみられる。

(改善のポイント)

・ 慣用句や故事成語は、知識として知っているだけではなく、実際の文章や会話の中で使えることが大切である。使用場面を意図的に示し、言語感覚を児童に身に付けさせる工夫が必要である。

小学校社会の状況

① 考察

・ 「主な国の名称と位置」や「世界の主な海洋」などについては正答率が高いが、「スギ生産に関する資料の読み取り」などについては低い傾向にある。

② 間違いの多かった問題例
(問題)

4 くみこさんは、右のポスターを見て、宮崎県のスギ素材生産量(木材などになるスギ丸太の生産量)が、平成3年から平成24年まで、22年連続で日本一であることを知りました。くみこさんは、宮崎県のスギ素材生産と宮崎県の土地の様子、森林の様子には関係があるのではないかと思い、資料1～4を集め、「発見メモ」にわかったことをまとめました。《中略》

※ 資料1～4は、本資料2ページ「小学校社会の現状」の資料を参照
2 「発見メモ」の□②に入る数字を、下のア～エから1つ選び、記号で答えましょう。

発見メモ

◆ スギ素材生産量が多い県は、九州地方に多い。宮崎県をはじめ、大分県、熊本県、鹿児島県での生産が多く、4つの県をあわせると、全国のスギ素材生産量のおよそ□②%になる。

ア 11	イ 22	ウ 33	エ 44
------	------	------	------

正 答 ウ
(課題)

・ 出題内容「スギ生産に関する資料の読み取り」について、グラフの数値を正しく読み取ることに課題がみられる。

(改善のポイント)

・ 資料から必要な情報を読み取ること、資料に表されている事柄の全体的な傾向をとらえること、複数の資料を関連付けて読み取ることなど、資料を効果的に活用する力を高める指導が必要である。

小学校算数の状況

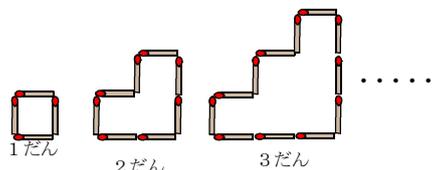
① 考察

- ・ 「折れ線グラフの読み取り」、「変わり方に着目し、数量を求めること」などについては正答率が高いが「およその面積」、「変わり方に着目し、その関係を式で表すこと」などについては正答率が低い傾向にある。

② 間違いの多かった問題例
(問題)

7 次の図のように、同じ長さのマッチぼうを使って、階だんの形をつくっていきます。

《 中略 》



(2) だんの数を□だん、まわりのマッチぼうの数を△本として、だんの数とまわりのマッチぼうの数の関係を式に表しましょう。

正 答 | $\Delta = \square \times 4$

(課題)

- ・ 出題内容「変わり方のきまり」について、2つの量の変わり方の関係を式にかくことに課題がみられる。

(改善のポイント)

- ・ 算数的活動を通して、□、△の一方の大きさが決まれば、他方の大きさが決まることを実感させる指導が必要である。

小学校理科の状況

① 考察

- ・ 「メダカの卵の受精」、「磁石の性質」などについては正答率が高いが、「植物の成長と季節」、「空気の温まり方」などについては低い傾向にある。

② 間違いの多かった問題例
(問題)

1 2 ゆうこさんは、サクラの成長の様子も調べました。次のア～エのサクラの様子のうち、へチマの「くきがのびて花がさく」季節にあてはまるものはどれでしょう。1つ選び、記号で答えましょう。

- ア 花がさいている。
- イ 葉がかれ落ちて、えだだけになる。
- ウ 葉がかれている。
- エ えだのがびて、葉がしげる。

正 答 | エ

(課題)

- ・ 出題内容「植物の成長と季節」において、植物の成長を季節と関連付けて考えることに課題がみられる。

(改善のポイント)

- ・ 1年間を通した観察を行うに当たって、身近な動物や植物のうち、いくつかに着目し、それぞれの季節において見られる共通点や相違点を見いだしながら行うことが大切である。

【中学校第2学年】

各教科の状況

中学校国語の状況

① 考察

- ・ 「読むこと」の領域の文脈の把握や文章の構成の把握に課題がみられる。

② 間違いの多かった問題例

(問題)

問五 次の

線の①、②を、それぞれ現代のかな遣いに直して書きなさい。

あやしがりて、寄りて見るに、筒(つ)の中光りたり。それを見れば、三寸ばかりなる人、いと①うつくしうて②いたり。

(竹取物語による)

正 答 ① うつくしう ② いたり

(課題)

- ・ 出題内容「歴史的仮名遣い」について課題がみられる。

(改善のポイント)

- ・ 古典に親しむうえでも、歴史的仮名遣いが理解できていることは重要である。現代の言葉とも関連付けながら指導することが大切である。

中学校社会の状況

① 考察

- ・ 「日本の経済水域」や「日本の交通」などについては正答率が高いが、「中国文明」などについては低い傾向にある。

② 間違いの多かった問題例

(問題)

2 1 資料1の文字は、どの古代文明でつくられたものか。資料2のA～Dから1つ選び、記号で答えなさい。また、この文字についての説明として最も適切なものを、下のア～エから1つ選び、記号で答えなさい。

資料1 ある古代文明の文字 資料2 古代文明の発展した地域

※ある古代文明の文字を表す図

※古代文明の発展した地域を表す図

(※資料1、一部省略)

ア この文字は、象形文字と呼ばれ、動物の骨に書かれた文字である。
 イ この文字は、くさび形文字と呼ばれ、ハンムラビ王の法律が書かれた文字である。
 ウ この文字は、のちの漢字のもとになった文字である。
 エ この文字は、現在もまだ解読されていない文字である。

正 答 D、ウ

(課題)

- ・ 出題内容「中国文明」については、中国文明でつくられた甲骨文字についての理解が不十分である。

(改善のポイント)

- ・ 古代文明では、中国文明を中心に金属器の使用や漢字の発生などを取り上げて扱うことで、生活技術の発達や文字の使用などの各文明に共通する特色に気付かせる指導が必要である。

中学校数学の状況

① 考察

- ・ 「負の数の減法」、「方程式の解き方」などについては正答率が高いが、「円錐の体積」、「関数関係の判断」などについては、低い傾向にある。

② 間違いの多かった問題例
(問題)

3(1) 次のア～エは、ともなって変わる x と y の関係を表にしたものです。この中で、 y が x に比例するものはどれですか。すべて選び、記号で答えなさい。

ア	イ	ウ	エ
$\begin{array}{c cccc} x & \cdots & 1 & 2 & 3 & 4 & \cdots \\ \hline y & \cdots & -2 & -4 & -6 & -8 & \cdots \end{array}$	$\begin{array}{c cccc} x & \cdots & -3 & -2 & -1 & 0 & \cdots \\ \hline y & \cdots & 0 & 1 & 2 & 3 & \cdots \end{array}$	$\begin{array}{c cccc} x & \cdots & -4 & -2 & 0 & 2 & \cdots \\ \hline y & \cdots & -1 & -2 & \times & 2 & \cdots \end{array}$	$\begin{array}{c cccc} x & \cdots & -4 & -2 & 0 & 2 & \cdots \\ \hline y & \cdots & -2 & -1 & 0 & 1 & \cdots \end{array}$

正 答 ア、エ

(課題)

- ・ 出題内容「関数関係の判断」について、表で表された数量の関係から、比例であるものを判断することに課題がみられる。

(改善のポイント)

- ・ 表と式、グラフを関連付けながら、比例の関係における数量の変化や対応の様子を理解させる指導が必要である。

中学校理科の状況

① 考察

- ・ 「液体の混合物の分離(蒸留)」、「物質の分解(水の電気分解)」などについては正答率が高いが、「モノコードの弦の振動とオシロスコープの波形との関係」、「花のつくりとはたらき」などについては低い傾向にある。

② 間違いの多かった問題例
(問題)

5 2 ことじを動かさず、Pとことじの間の弦をはじくと、オシロスコープの波形は図2のようになりました。次に、弦をはじく強さは変えずに、音が高くなるようにことじを動かしたとき、オシロスコープの波形はどのようになりますか。次のア～ウから1つ選び、記号で答えなさい。

図2

※オシロスコープの波形

ア

※オシロスコープの波形

イ

※オシロスコープの波形

ウ

※オシロスコープの波形

正 答 イ

(課題)

- ・ 出題内容「モノコードの弦の振動とオシロスコープの波形との関係」において、音の高さを変えたときのオシロスコープの波形の変化を指摘することに課題がみられる。

(改善のポイント)

- ・ はじく弦の長さや強さの条件を変えて実験を行うに当たって、条件の違いによるオシロスコープ等の波形の違いについて、丁寧に確認しながら学習を行うことが大切である。

中学校英語の状況

① 考察

- ・ 「指示している内容の理解」、「電話での会話表現の理解」については正答率が高いが、「言語の使用場面と表現の理解」、「説明文の理解と語彙の表現」などについては低い傾向にある。

② 間違いの多かった問題例
(問題)

- 5** 次の1, 2の(1)~(3)に当てはまる最も適切な文を, 下のア~エの中からその記号で答えなさい。

2 Bob : Which raincoat is yours, Aya?
Aya : (2) Thank you, Bob.

ア Yes, it is. イ That blue one is
ウ That is blue. エ It is yours.

正 答 イ

(課題)

- ・ 出題内容「言語の使用場面と表現の理解」において、持ち主をたずねる場面での、名詞の代用語としての **one** を用いた表現の理解に課題がみられる。

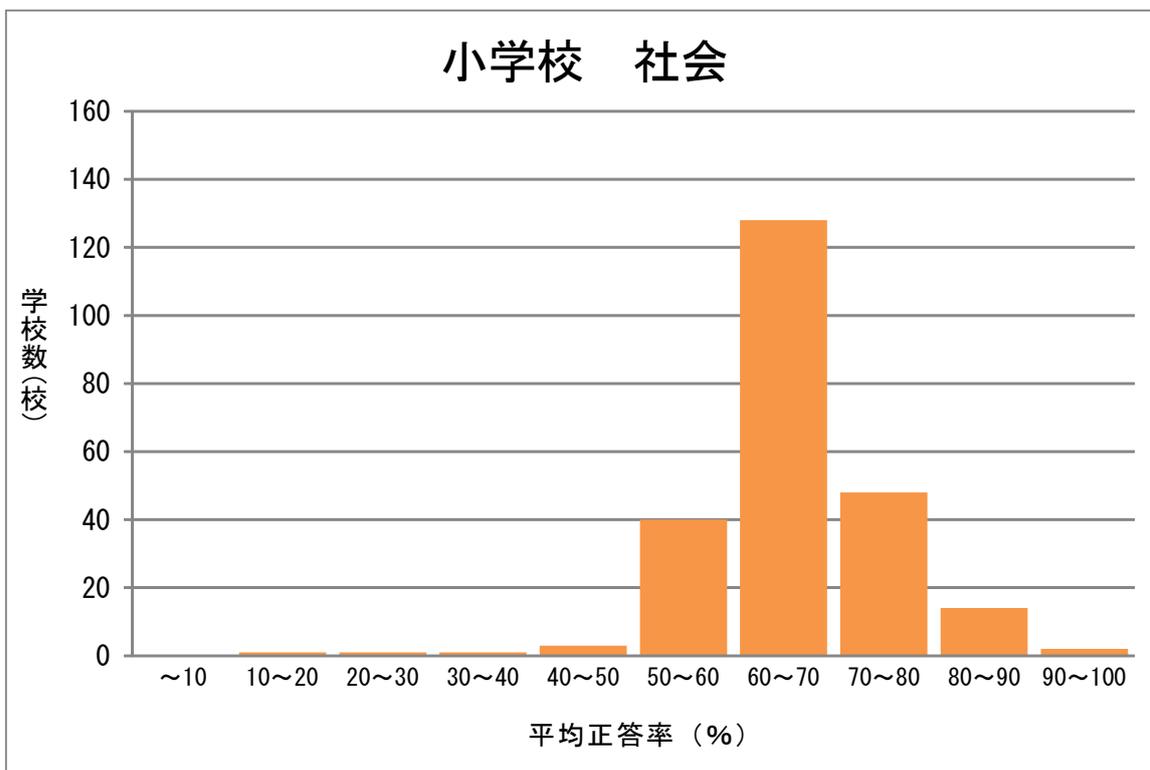
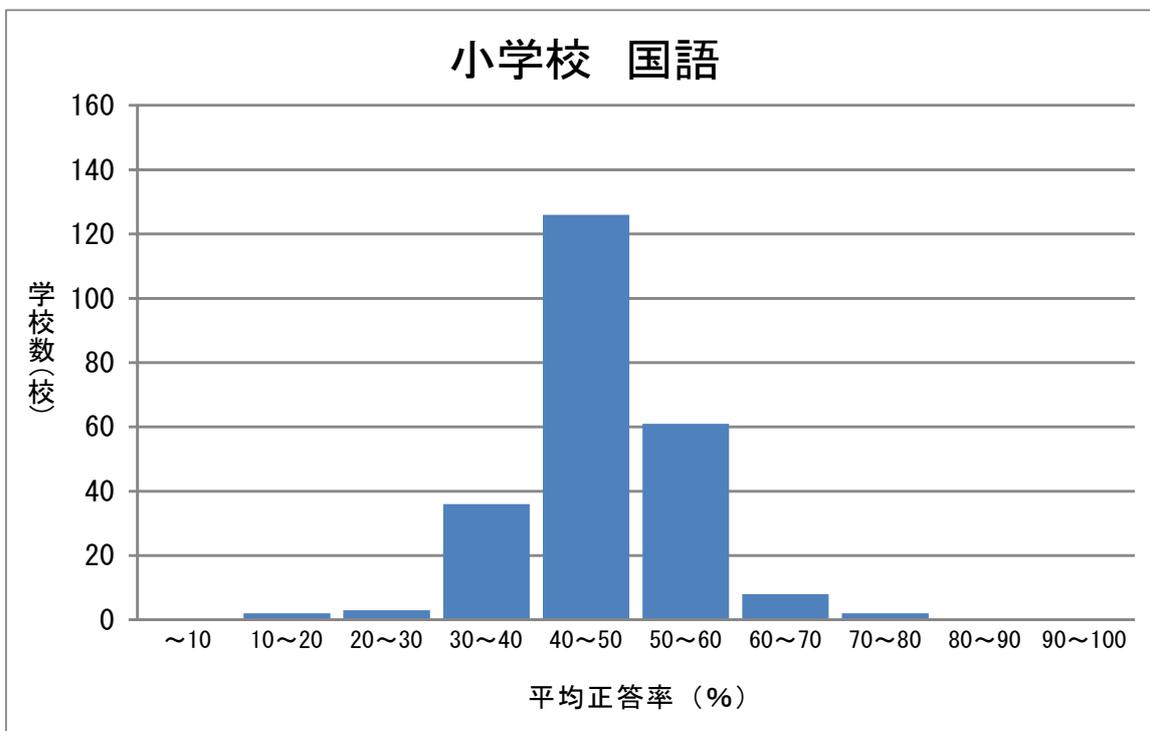
(改善のポイント)

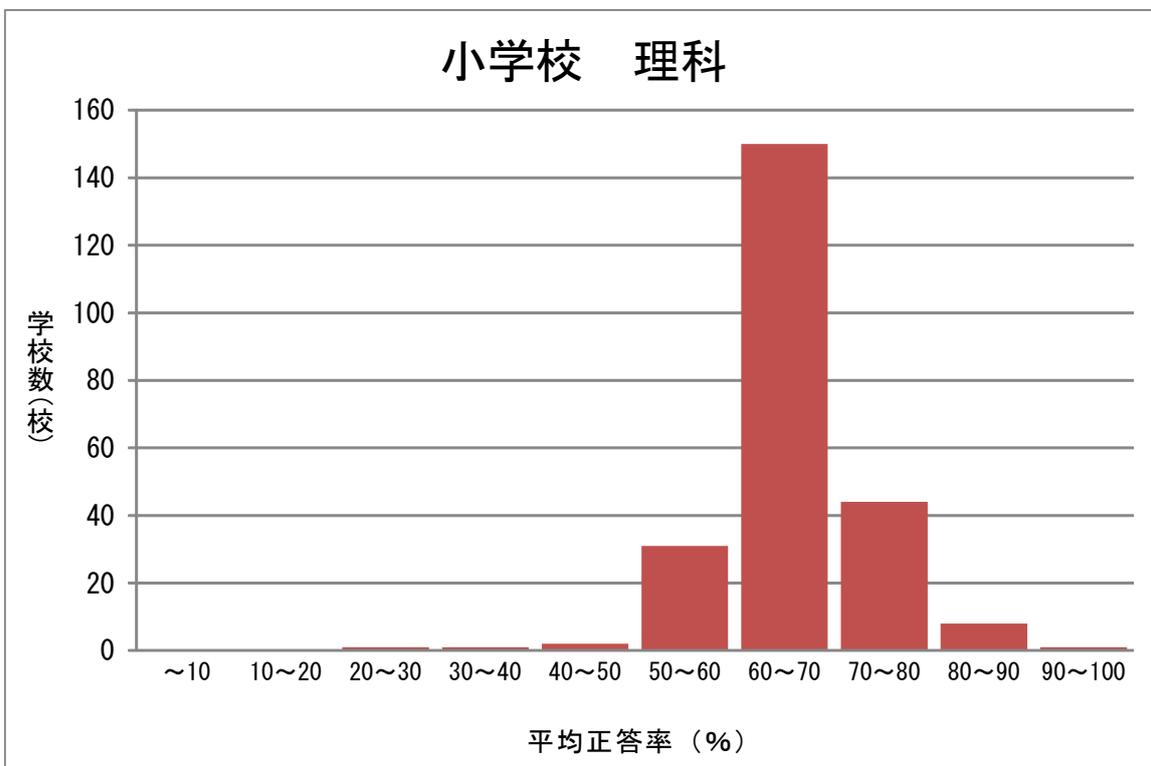
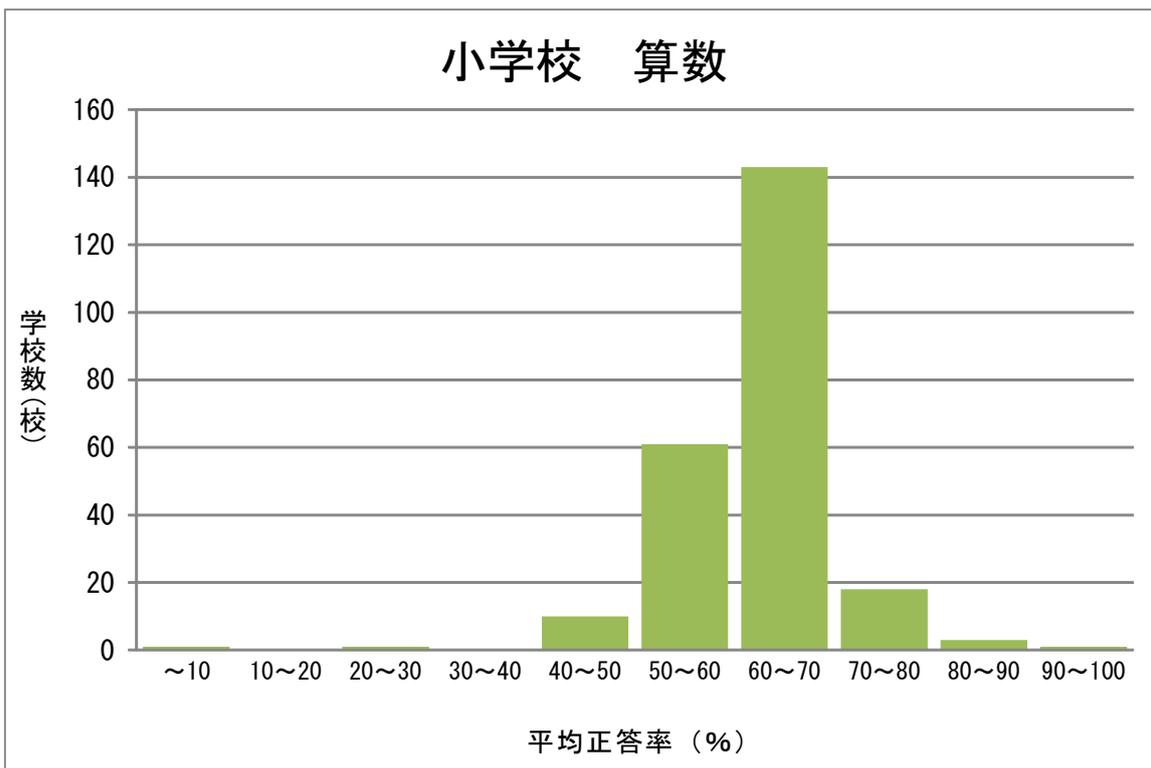
- ・ 名詞の代用語である **one** の用い方を理解させるとともに、実際的な言語の使用場面の設定を意識した指導が必要である。

Ⅱ-4 平均正答率の分布

1 小学校における平均正答率の分布

各教科の正答率分布グラフについて、縦軸は学校数、横軸は各学校における平均正答率を表示しています。





2 中学校における平均正答率の分布

各教科の正答率分布グラフについて、縦軸は学校数、横軸は各学校における平均正答率を表示しています。

